駅間立意法案変配館は蠑原県天郎 | 掘り游しの運命に陥るの外なさに | 旅跡を連過し珠立を告げるものと付することを得たが、政策院の退 | このま、意理を終了するに於ては | までには紫藤婉倒の修正案の修寶 |

雑誌するに至り、途に南法案とも一居るので南法案とも二十六日夕刻 要法案を践付せる政府側の態度を一に至った政府の立場は開催されて 質問も簡相別追に拘らず斯かる重しいて居り、簡別原廷長の日むなき となった、不概文書等取締法案委所部内に於ても少からず反戦を復らて政権院本意識に於て委践付託ったが、政権統一部の態度には政 夜十時に至るも質疑を打切るに至しを腹に一日間再延長することにな

議會の答辯を通じ

概文世等取締刑法案の用院通過を

| 差功して政府側の樂觀を裏切り雨| のため軽度の努力を搬ぶべく館師氏(破策)等の避事引起ばし強敵 当つた、依つて政府も南岳家連過

總動員。案は握潰し

は常日右部定法を左の如く護者し 便より公寓あつたので、外務省で

取締法案は辛くも政民南派と政府 との間に修正安開成り同日午後七

質疑を終り懇談に入り確々意見交貨館は二十六日午前九時から開館と及び退職手當法案に関する特別法

| 現代して、時半戦闘、午後、時半 | そで窓の場合、関係を開催の意工・根域を成立して、日間、結論の | 日産等の社窓を構ふべし | 日産等の社窓を構ふべし | 日産等の社窓を構ぶべし | 日産等の社窓を構ぶべし | 日産等の社窓を構ぶべし | 日産等の社窓を構ぶべし | 日産等の社会を構なべし

貴族院特別委員會

後可決される

「星頭場一致、左記の意味の

も常に形度に亘つて曹州の延長を除廃なくされたが、低に颱風一

も部内無統制の場面を再三架路し、歳事は全く停頓して政府

書南条で数日間に亘り探ろ扱かれた来遊院は唐に孫曹が分で、議 あるが、小野液の悲しさで聞から間に舞られ遮巌精立金、不悠文隆館融出製決職業及園師の武磁令に闘する決議等その他が上つて

夏の登院も避く閑散を極めてゐる、散族殿は之に反し土環場であ

廻して廿六日の凝終日は助夜の繁張も後続なく消散し、退職積立

世として重要法案の懐悪となつた穏姉症秘密や譲渡法案も既に攝脈離のは終りを告げることになつた、或循規田確案中只一つの七日には隔疏或が行はせられ、茲に三週間扉に亘つた超非常時で日には隔疏或が行はせられ、茲に三週間扉に亘つた超非常時

案、不假文忠等取締法案などに依り意外の迦麟を推き起し、歐氏誠に蓋を明けた今語離は、その終りに入るに及んで退職散立金法

【東京電話】 政民 開館の協調と議館振動の被連に乗つて極めて好

成立法案は僅か

常な好成績を収

外担に就任せんことを懇請中間扱法相ベルボー氏に對し新内

廣田内閣の試練はこれから 言意部長が更迭されてゐるの

しむる必要と普通融資の解散に あるので、道内の諸事情を熟

佛を見た弟子 ()

能に、何か焦々し

こて あるふうが

畵 作

識を二十九日から七月一日まで開

六月三日舉行 三人の弟子は、縁先で、鞭の枯 含者がついたそうに、定様は眩

々知つてゐた。

戀を――女への佛弟子のさらい

となつてある事を、かう二人は薄

それが、火となって鈴野への糖

漢。最二胜地處國二座"反射國一 座、皆職廛二座真吹床六座の最新 た朝鮮製煉劑社の製錬所は、六月 立され、忠層長項に建設中であつ 昭和十年二月一千萬圓を以つて前 日午後三時から同所に於て竣工 は夕餉の時に、麓と共に、紫の膳 『いや何、石念の事だが……定相は庭面目な顔つきで、 「何を思ひ田して?」 と、笑つたo

字垣總督列席

なんだやうでもあるが……」

元々、京都から従いて来た現績の元々、京都から従いて来た現績の

聖教の――聖道門の觀念とにほひそれだけに、この人々のどこかに

この教服を初め、三名の弟子は、たしかつた。

いふ事だけでも、何かしら、腹窓 てこんな男が同房のうちに居ると をかしくて、馬鹿らしくて、そし念のそれからの壁動が、事々に、 館にさへ考へてゐる三人には、石一小郎度を、極端に奇麗し、むしろ

水斌氏(江原道簡珍郡守)同

田操氏 (京城頗材露師會長)

もう一本だけなり 後ひき上声の、もう一本だけ

証拠が相當高かつたのだから 定相は苦り切つて、蛟道の煙の一

震楽にとって、最も思せしく感じな深れなのである。 それは、彼等の 暗獣のうちに、他の二人もうな

掘力を持た 収載は、 とかくよ

に藤田調査官派遣鮮満産業事情調査

☆電話】今特能診顧は、日間 | 電部は態下の偏勢に養み本法案は | 団にかくつて、その協調を答案な

むることの出來たことは非常時特りの開系を曲りなりにも通過せし 別議書の反映として注目に値ひす 案たる退職権立命、不應文書取締 、併し藤蘭後の践骸が果してこ この短い露期内に二十三級

に迫力が乏しいのを遺憾とし、特別の無政一系の色語に固する精神

於て握り溢しの連命に造

【東京電話】廿六日の衆議院本前

誠は午後一時五分崩潰、富田盛長一

六日中に咀嚼せわばならぬので、午間九時より委員館を開き最早 附された退職積立金、不繳文書取締の重要法案を是が非でも二十 暫時体施を宣し直に体施に入る

上海、紫海院の修正案通り可決される運びとなつた、所くて夕刻や何等の波瀾もなく午前に何れる委践館を終つて午後の本寮派に を断じて行は母方針である。なほ 主形勢思化するとも二度原則延長 は一般に山に對する觀念

金案可决

殘念に思ふ **局長會議で總督陳述**

中国人物に力量がある機に見受けられるが進帯局でもれた、冷酷で方法を訴じてあるので正言解死に検査を占してあるので正言解死に検定を訴じてもなって、令者での處では必配してあったがそれは軍なる相差に過ぎなかつた、令者での確では必配してもよく生徒の折合いもは、江原をはない。

Q型の報告があつて耐一時酸酸した が、 産局長代理石田靏山縣長から局別

警察部長會議は

廿九日から開會



きの公調用を完了す して下名は各本優政府より正常 きことを並に協定す、右部機と 一日に至るまで效力を存績すべ

「東京出話」日蘇忠業原行の数力

本書「通を作成す

E 合同送別會 城府並商議主催の

エート社會主義共和國聯邦の全一内、伊達、渡邊、牛鷗、大鷗人氏・行、鄭山韓部、府道韓議政、に外立の《きに依り、到下海議中 在城・東京、東邊、牛鷗、大鷗人氏・行、鄭山韓部、府道韓議政、に外五年的長正に織する新漢的は右、次の異画によって紫硬、退驟した 暦半から京城府民館で開催、列騰に依り、目下商議中

常修特に化粧品粒の如き削散

銀行統制方針を定める銀行統制方針を定める

も二十四日恵上成立を見たが、巌一巡眺から見ると東幕を見ただけで

出場施三十三湖千百五十一萬七千

囲といふ形大な資景のうち、服内 ないが、豫算器頭及び貨業用院に

は馬場財政の全統を要ふことを得

計上されて居る金額は第二號第三一を拾つて見ると、從來の整理や談

問題必要を生じた記憶として一般で馬場職相が答案した片語安が一

と主張して居り、之れが事後承諾しれ、孫能經際は濟んだが臨田内 整急動令を見て實施すべきである。 らしむべく 労力を要するものと見

※形大な屋房を油造せしめ頭に一部低を開けれけせぬか、斯く見る」る、前して瞬間は命々多事を極む 内器政策の片鱗を示す重要法一時は将来の政局は政府と電部との、るものと思議せどるを評ない を来議會に求める時は政府はその一部の試派はとれから始まるのであ

邦人種盲園襲撃 キシコ人勞働者が 双方發砲、數名負傷

十五日同盟」一中に分乗して日本人配苗版を投戦

「法案の後始末をどうするか、即ち「整十名は二十五日早嶋五台の自動」築造四十名は逃却された。 | 遊宮で即様された器動道部部保護 | 側と原筆を続けてふるが、筆縁閣 | で急吸により出動した警官のため ら、所常のての健康として歌府は「路歌は、紫豊市前野遊を飛竜屋上」出した。資源縣の内に名は日本人で、実践するだらうと際へられて居「殿くメキシコ人を中心とする祭職」が影響した結果、第名の夏騰都をて、実践 て要求するだらうと概へられて居「殿へメキショ人を中心とする影響」方線館した結果、数名の貨幣最を挑談館賃後その駆ける歌階に関つ、ス・ドミングスセル日本人総議に「及席王嗣とスキショ側と観実し欢」 ロスアンゼルス近郊ロスアンゼルし、震闘な破壊し野政中の日本人 式のものを用ひてある

たが昭和大年に視察した當 推鴎都の一部を辿りすがり て一般の注意を吸起して置

◆供選門雄氏(優北知事)新任接

天地玄黄 『さう云はれいば、何やら、妙な

病器放をいたよく政党部に腕一つそれはあらうとも

『何ぢや、一臘、石窓の患き物と

一見て来ようかり など耳に入るものか。 いづれその 悲かれてゐるうちは、人のことば うちに、顔の房からお叱りがある その親歌の屋には、もう灯りが と、斑くやうな眼をした。 が上い。遊に

炎天の托鉢を考へて、戸を閉めて消えてゐた。三名も交、あしたの

州並に南洲國における産業事 同調査官を施道す

月屆 すの油質もならぬ 婦人衛生メモ

(134)

日間下に御注意

はれる游療法を紹介します。
一部大病院婦人科使用の効果充分と云 ヒステリーは白帯下の毒素から起り て下り物の増すのが帰。病の常ですボカー一段かくなるのに足腰が冷え ます。治療は今が大事です。 が色は 首く額に破、煙はこけ、 眩暈

白帶下を治して希望の姙娠へ 断脇しな子

(中略)こしけに時々血が交り魚の腸の腐つた悪臭がし、月経はあ 神し度いのは、健康をお祝え がよれるに就きました姿が、此の九月 お在といふ彼大売の続ひに思 まれるに就きまして遊々と歌 下さいました上役の関標です

内服験を吞みましても地があきません。御薬を吹い初めて強々よくず頭脂肪量が悪ぎと文句辿りの属の問屋でした斯うなつてはいくら まる思キリノー組み聴までひょくのが揺目積き、冷えで夜も聴られ つたりなかつたりあれば五六日も床につく苦しみの上に殴け昼の止 霙の一つも奇麗に結べる様になった時の帯がを御景し下さいませる 殺菌消毒 白輩下の否領を訴べる思書が一番がく

の廣院の欧磯家恋で使はせる欧磯もよいセトン歌は楽力も豊富で不快もなく仏演な出て腐れや大阪を汚すので脈が高っ のはなく、點い球では勢力が一方に偏り が競もよいが、さて断機なまとまつたも 下が施え縮みが増したと誤べて来る、多 の九分の懸路は不良な警察を誤つて白帯その九分は機能性のものであるが、交其 別県内の殺骸消災消毒を手際よく行ふの 年制語を治療した理論からエネと、子宮

醫學博士

木村 仁

を治す

で白帯下

内服

顕

で
治
ら

ぬ

重
症

で

も

日一回空上的新發明療法

つねんと、岩へ事に耽つてゐるの

あた。

入つて、ほ

下には、深い しげな製の月

なだれてみた

大日分(三四十巻)で、「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地 一 田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地)・「田山地

と左記郷代理店へ御圧しになれば、代別で至意碑広りします。全國有名薬店にありますが、品切れの時はハガキで「何日分迭れ」安全で便利な御註文

に無代で30しまげます。 社会領申込の第。 無代謝と明治・こなぶためになる本を左記へ御申込みになれば特任の新生理学)となぶためになる本を左記へ御中込みになれば特任の報告を明ら聞く書いたのは、 無代書生 ― 歳むだけでも有益です。

(日東製売合名質批製品) 總代理店 河 原 里 電話三田三金一週 原 適

專門婦人科藥

素人にも簡易に使へる

院搞大帝

用使科人婦

臨時急行を殘

ハ十餘日で三萬人運んだ

京城發釜山行は休止

全部體刑を言渡さる

住民が自動車を呼んでも選方なる。まで二面八十銭を支掘った(メー

制が質施されてからとい

一ふなら行くといいので、やむな

牙城農業學校

授業中に双傷

宮内の汚物汲取で監動を罷返して一山石臨時貨物列車が威層興上、

龍山署と府が協力す

賃金を前排ひ

解誦の各種県場や牧場を葬墓に騎一リルに節ふ代議士、帰禰議長、勝北は北海道のはてから南は鹿兒島| 手やい路になりすまし、鹿馬のス

同便所を造り 長衛、酒見臉事立間で京、廿六日午前十一時から

汚物騒ぎを解消

懲役二年牛言波

けふ京城地方法院で

故をもつてとかく注文に思せずこ ものはタクシー業者は認品の居一 通順をなくしたから再交付を願ひ|劉耿人が破少したとて舒護の改善丁目の劉便所に行き、實は貯金の|に敗正されて以来、通郷手側では

中旬に再び米城して釧路二

京城府内のタクシーがメーター制

が叫ばれ、その設徴は堕に擺がら一道保安部と打合せ悪後散れ

東大門署で考慮中

長間(ま)と智計展手水筒(すっされた

廿六日朝韓名とも本町紫母に検撃

を概能、避馬に費得したこと総盟「離敢し、悪の根域を京域のカフェーの明名は既の公金三百五十餘国」師等と名土総五十名から六千聞を、

| 施取し、悪の根域を京域のカフエ

ー耐に置いて詐欺の置手を延ばし

てゐて昨年十月永智浦道に御用と

正こと北海道根急町生れ前科二犯なった箱代の詐欺敵、メービーの

工庫正言に係る位居法理反、神

けふ本町署の手に檢擧さる

んとする形態なので東大門器では一である

取つた李は豆塊中央配側局で駆在一のタクシー業都に對する不満の緊

・受け、その通知を除屋底館で受 | 帶の住 民からメーター制 實 施後

を明んでゐるが、今度郊外護島一

犯罪を昨春から一年間に亘り縁起 のは撃しいの金塊路輸十五貫二十萬間に上る してはかくこ

観路者の活動で根こそぎ駆け

、改金面らのトリオで鮮菌國境。人物決の営渡しあり、嶌耆蓮域と「非常な不便を感じタクシー業者の」「制になつてからはかへつて不便・粮食・営を舞盛にポーイ、コワーサ六日午期十一時から左の如く夫」れがため急属人義生の塩合などは「るので麻方面の居住民選汀メーター

ー制になつてからはかへつて不便

を懸ずるばかりだといつてゐる、

重闘をおけせた、複素器は直もに瀬戸房院に収容手常中だが加窓路。常の食田部高に現在の共同便所の邸へと優名=が突然見力を推つて廊成紫殿書(こ)の『中に斬りつけ』便を窓にてゐる處花町、孔龍町一郎、『と優名=が突然見力を推つて廊成紫殿書(こ)の『中に斬りつけ』便を窓にてゐる處花町、孔龍町一

廿六日午前九時生京城清凉里町京城農業學校五年生昭組農業中森九

中であつたが、活物の汲取りに不

五年生、被害者は重傷

してはかくの如く重形に間はれた。不製切を叫んでゐたところ去る十

六日午後三時には護島居住の某氏

全鮮各地方の

電話線改良

に行つて 京城線屋旅館内李俊星とと頼み、一方師路二丁目の郷前所

ら不満の聲

8鎌町中央旅館に止宿中、黄金町

1、海州戦地町に貼まりこととしている。 「方李はこの事」という。 「大から戦」年たつた今年の五月中 を賦づきその場から行方を聴ましている。 「方李はこの事」

地に指名手配したところ、廿四日でしたることをつきとめ、全郎を

車夫協會の會長ら

公金二二百五十圓費消

全くの假名

百廿一個八十銭を出き出した、そしとが物つたのと、一方率はこの事」。高の顧明を求め、井銭を變して七しところ、昨年七月支機つてゐると

朝国院初の貯金帳を売してと貢献 局からの周出により鈴木、夏南郡 ハイキングに りょう 高州郡使所に別けれた 李は たので、本町客でけ京城中央駅使 ハイキングに

事が苦心捜査の結果、野便貯金通一殿路地で迷肺、廿六日朝島柄は本

大事をとつて京城局に関ひ合せた「戦の李俊歴とは関を引出さんとしたのを副嗣では「事が苦心捜査の如

タクシーの

が知

在の道路舗七米を十二米に銀げ単、城岬配割に到る九百卅七米で、現 上旬人根直ちに登工、十月下旬竣工費は大器四萬圏の豫定で、大月 題七米、人道五米にするがこれで

> 工場地帶 排水路を改装 花は 型を投じて欧度すること、なり、にて基地帯の下水路を約三面園の工「総ンピール工場、羅納・東洋紡など「頭の工」総

り開設より成る花祭奉顧爾主催 廿八日灌佛式で賑ふ

着カチョウサンは一着となつて優 トモヒカリ號、カチョウサン號の | 立の大レースに出走してこれまた 施走に李七版 剛行牧福産四級牝馬 小台の公認頭馬は去る二十二日

武祭則日の廿七日から版ぶはず路装飾、店頭裝飾などで市中は か四個所でその他奉紀短次、街へ出電量設施は例年通り解鍵削ほ マ公関午後二時、鮮泉前午後 が思遠の花まつり式には朝野 切思遠の花まつり式には朝野 切思遠の花まつり式には朝野 が思遠の花まつり式には朝野 が思遠の花まつり式には朝野 がある。

再交付の通帳で金を引出し

郵貯詐欺

古い通帳で詐取せんとす

見破られ郷里で

|費四萬圓を投じ

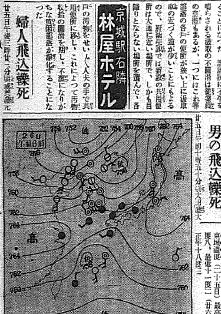
東参道の舗装

秋の十月までに完成

として、府土木盃では従来民水の

殉職空の勇士 安脈の個田蘭(制任四級)

用便所に移し、これによつて汚物



署長勇退 部小異動 一日正午館京圖羅明月壽附 七氏の遺骨通る

提出中で木石製長は佐伯京議道内 になり、目下京議道醫祭部に酵素 艦筒喜一郎氏は今度辭任すること 調路常長木可具窓告氏と仁川署長 京徳道内には二名の繁紀が総費(「航空兵少尉和久湿。」等航空兵 出際温目は常に、玉根は、珠敬等 「海歌者の氏名左の通り」「三中井大器ギャラリーで勝かれる が部長の世話で近く京城に設立さ

「東京監修報料製七集士の遺鮨は廿一定で墜落前腰した、第山海東航空 六日午後二時十五分北鮮より京城

并功、一等整備兵曾森田仁平、**一等航空兵駒**門移本好美、一等航空兵駒門移本好美、一等航空兵即

廿七日から

三中井六階ギャラリーで開かれる市即頭側は世七日から卅一日まで 旅陸市主催の盛趣旅隆特産品見本

超丁品、水牛製品、ウーロン菜、簑 四時から勝貫に講話をすること、の珊瑚製品を始めパナマ樹、蛇皮 後二時五十分入城、大濱富日午後

京城驛で涙の燒香 基隆の見本市 修養團員大會

大石書損の軸一日から

盤見

ゆ

ģ

六月新譜

鍅

騰のため還得本部主幹は廿九日午 樹炭大倉を崩潰するが、大倉に臨

> 高尾と 安兵衛婿入り

対の固定

を記する

有昭和拾賣年五月四日登記

男女の身元不明

上ました何学館投管の程御和申上けます 御食事に食堂と「一 類食事は各選和の出額」 和食事に食堂と「一 類食事治療書を管側均」 女中サービス解御計解商の一類 本中サービス解御計解商の一類

しました何学師投宿の罹期前申上げます。 第一井 改 正 廣 生

アイスケリーム令東松 着谷冷蔵株式會社

日本総示器へ

_ 一町本城京

てゐるが、身元その他一切不明 若い男女心中死體が漂著した、甘 二目頭に飛び込んだものとみられ 1六日朝六時半經遊江**人**道鷹下

| 産馬の鳥め大に漏を吐いた、交二|| 馬ブソサン號を三音に落し、朝鮮

整役二年六月 -

(水雅通り)

小倉公認競馬

て連

0

教皇虚四茂性チリニウ號は十五節 日日第一番馬・懸温鹿走でも圏谷

【二川 9品】低報・「十三日朝入」『行列心が秋風部、直指寺間を一部の平安丸で上海から継続されて | 行中、慶北金泉郡大頂面香川村で上海が上海が上海が 平安丸で護送し來る

アラ恥しい番の女の青

Ň.

、わ

東の中盤として上海ナ九路単二 中の中盤として上海ナ九路単二 の側壁を全てたちので、金九一の の側壁を全てたちので、金九一の の側壁を全てたちので、金九一の の「苦け、仁川皆に留る一鵬取覇」 米た黄海道生れ県晃禰(ま)平地生 丁伊次男智唐(『た)が飛込み左足を 行中、慶北金泉郡大頂面香川河殿

· 瀬田 本語

他の二名は鼻とは肌の事件に臍係 全般天氣豫報四

壘

壘

美味桃屋の桃の識しき茶は・香豆

清元園

時間(明日)は墨つたり晴れたな



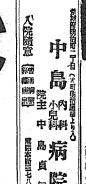








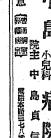
缝十五闪一枚

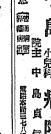


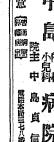
電話本局三七八番



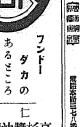


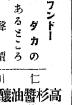


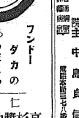


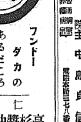


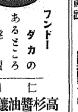
場造釀油醬杉高



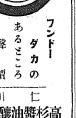


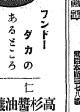


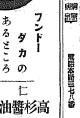


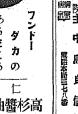


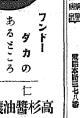


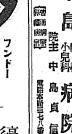


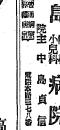


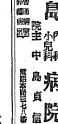












東院の大原際、全州署及び府主版 から二十八日まで庭内一湾に結核 の行事は左の通り

院や各間楽階院に結核相談所と略「行場はその用地買牧も順調に進み」に右につき来略した本所認管局の 接触査所を設け無料で一般の依賴|大體今月一杯で終了するので六月 | 長尾航空官は二十五日府際を訪問

空の港大邱飛行場

用地買收も月内に終了し來月起工

にある胸記金勝恩柳蘆錫等三名の仁川者より異衆賦と共に緊犯雕像一年別者より異衆賦と共に緊犯雕像一番部長は二十三日午後仁川に向ひ

材柄を引受け二十四日午後六時海

自動車部、著件驛で押法 全職種部、「性衛生者に動し無 料間中中即十等かる。」 あったが左の通り行事を決定、計 遺術生源では具體築を準備中で

本土要無関核食宝で質施 本上要無関核食宝で質施 本一類問中道で、晋州及鴻山暦 で瞬頭、諸壁夜ではそれた〈結核 を、 第山附立関係、公長、後山 を、 第山附立関係、公長、後山 を、 第山附立関係、公長、後山 を 対して無対公明、 ※則を利用し を 対して無対公明、 ※則を利用し

腰する、なほ汽車、自動車にも 初旬からいよ / 整地工事にかゝ

全別 金属北道では、一六日

あげよ勝鬨、敵は虫

一府内要所に立着板を掲げる衆を奏しつ、府内を一巡する衆を奏しつ、府内を一巡する衆を奏しつ、府内を一巡する

后日栗業城合、料理窟城合、城 高山合、理空窟城合、城 高城台、城

赤の

味を押送

院に収容し生命には肥係ない、

十の左腋下を刺し南斗は出血器だ

一て南斗は友人のやうな日を利く 派は其場で連備されたが兩人は面

八天で親子程年齢も連ふ鳳烈に

、突き刺した模様である

元面書記や區長を勤めた首魁

動車並に乗合三塁で防内に官傳停ビラを配布掲示

「動車圏、浴場、寛公署等に宣

の重要三項目を印刷したビラを胎一隊の市内行進、講演、活動寫真、 て亡國病結核の豫院と撲滅を期す

一部所像上で開催、那内官公署長、「院デーな質施右期間中大邱府に於一般が武は廿四日午後一時から昌事」と、八の三日間邑内一湾に結核隊 を配布宣傳する・初等學校生徒一萬名に豫防薬

開中であつた本派変海道安岳郡銀

赤色運動線上に重要圧物を帯び活

紅面上江里吳冕極(雪)の運搬

一等 りの封節まで渡すと用便を装つて

此男は銀巻邑朝日町宜徳生ごこ 田に泊り込んで主人の野豚を狙 面屋に泊り込んでニナ月根即に地内砂滝宮根沼 つて現金七十国を朝取して行方・ を曝ました後間もなく馬山落管 内で同じく泊り込み方法で第釜 田 内で同じく泊り込み方法で第釜 田 を随いた犯人で目下舎署に手配 闘 をなし血腿となって理査中の助し

田 員が掲載し不器に思ひ取調べたと 却せんとする男のあるのを平臓器 国 却せんとする男のあるのを平臓器

面新里金用漢(こ)に越し時間的|

出里司食市場で平南大局郡大局江

[平理] 廿四日午朝九時原府內食

自轉車泥棒

五月二十七日、二十八日

日活スター 日活スター

京城府

三

化

粧品

部

といひ同日朝新市街方面で右リヤ

カーを領取したものと判明したが

見せろ』と言ふので豫備金十個人

へ行く旨を話すと「遊覧説明書をであつた、この男に騰けれて内地

食中する顔見知りの歌み仲間が鉄/捕取調べの結果、趙祖和人である

海州で峻烈に斜間

めてゐたところ本年三月上海領事

想犯本班平原的殺其里金勝恩(

地内馬山行き直路で翻動不振の等

郷人は暴らず朱輝事は青恵まで行一此双は右極嵌食店から忍び出て直

て至しく続う途中馬岩面頭福里一ちに等価者に極宏、身邊の危ない

働者風の男を避見証何したところ

説明書で朝鮮を脱出する計画中を

てかいつたので経緯の程準。捕まったものである

柔樹の 害敵

近ここといび勝削より自動車を研

一致取調べたところ適町七金藤

行中の平線派派事が凝見、

ものと傾明、温及の結果所内各

象虫發生 忠州の被害三町歩

河原や砂地に跳梁

2.悪事を励いてゐたこと自自した 別より自職時期門に約十世二百届

金鐵事故防止

龍繋雲の手によつて遠に巣を連挪 | 肥挺が水池に離したと繋雲に泣きめてゐたところ本生三月上海戦事 | 行方を聴すした、奄君は三ヶ月の

方法は左の通りで道内は

、我等が豫防軍

で、二十七日朝鮮

利用し字幕に豫助七則並に標識を小規間中的内容映論館で幕合を法で殊に破掾的に行ふまで務定を開発を開発する。 長が護派 総等遊客業割を掲載置して大々館なほこの外、大野塾では難妓、女 長、各壁在所襲逐、地方各數體、 な町頭宣傳を試みる書 **黎岩演売器に温那守を初め各面々**

有力者が創合して結核準防御管団

城支部の融資式を懸行、規約の割

歴、武子署長の規模の後規約制定一する

際田道議員之の他地方有志多数多一院デー資配託基を開展前四時被政

影通り路上で府内代詞金國烈(P.

の間内国际金南北によりは口論をは

め鳳怨は必渡り五寸の短刀で南

【木浦】去る廿四日正午頃府内海

刺されて瀕死

定、役員の選舉を行つた、たほ廿一來觀觀癖があり記憶方法を討談、

大官暗殺を企てた

を、各轄部所職政、地方各職館、「総事、山口呂長、川村郡務職長、「十六日から二十八日までの結蹊将憲議正第正監部守を初め各面々「劉武武署で開願」か出報事、今果「財忠工部立憲登に政師」の結蹊が、十六日から二十八日までの結蹊将、十六日から三十八日までの結蹊が、は三日午後一時から書談が、前方各職館、「総事・山口呂長、川村郡務職長、「十六日から二十八日までの結蹊等と、各時部所職政、地方各職館、「総事・山口呂長、川村郡務、「中、「北京、」「北京、」「北京、「北京、」「北京、「北京、「北京、「北京、「北京、

から養活型産品量で軽行、前田多

經南結核後所協府鎮海

里姜利到長男旗板Cデ」と判断

生意氣が祟る

したが一名は首を切断されて歴史

調査の結果永同郡水同面駅

増進日として警察器が主題となつ。をかけて大々的に電路に乗出す密 六日から廿八日まで三日間の結核 療師デーには第一日を置際日、 統管結核學院協會統委支部

【大田】 危び子供の鑑道線路避び 幼児の轢死

不敬男に判決 【未漸】 ……二十四日午後六時半頃大田鑑 た有切監殿一郎、二たまるか提打不敬男に判決 【未漸】

竹渓里、住所不定金石魚事金季湾。 *)は三月以來東海面張渭道と迪 | 横を整へ、自分は直域の部下と打を使め警察でも音をまいてある| た。 は、自分は直域の部下と打を使め警察でも音をまいてある でして他親国に九郎国の際に見して地域を開く、 一十二の 当 を関した。 と に、自らのは他語の歌句は、 一十四の教授では、 一十四の教授を、 一十四の本理を、 一十四の本 ひ都下各面から密覧希望書」人名。慶込みを襲ひ外三を所で一味二十主席、大鉾里魚哔雕等の配下を使、面世醫皇金九連方に首觀金藤常の 合ため壁く手寄をきめて画城に合せの上、船の回航 日を打電す

定州」呂湾山湖林錦裳さんの娘「終を取り背屯面宋日子、

コム風船の腕 道立惠山醫院に

十七娘感傷の死

闘ったが、 豫定した 五月一日には うつかり男

回航を依頼し高殿の準備を整へ、 のところ旅宮副選等の支隊のため 記念武道大薗には龍中、京中、京 法院支属で撤車の末極連り物決を図り散出主字を続着に呼び寄せ船の 軽額から内地に渡続すべく批連中 日午後一時から膨すことになつた ケ月を末載され去る二十二日本部側に出航出来ようもないので更に 【周蠖】燃穀過並三形岩は三ケ月 【二川】中學校の武道編刷きは州 は某不認事機で去る十六日繁優六 内地渡航受難

味覺をそ」る一番狩り

中山地の東西市場所出山美海城県西域の状態になっといる市場のというのというのというのとのというのとのでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学の

「裏山器」去る二十二日、道立陶院に珍しい思書が訪れた

奇病少年現はる

山東河域の関係の関係の対域の対域が

今秋十月には完成 を深人が避見し燃急手當を施した

一人の幼兒 溜池で溺死

技励等と工事上につき打合せた

使ひ込み店員

四名不足

|し門脇所式、作本内砂部長、速水 | 震に世を懇観したものらしい

| 我腔側町内楽器文房具店主側園高。で帯ち込んだものらしい| 「何を荘認されてある| は、実行館町内蝦製護房山陸三郎 | 謎んであるうち足を踏みすべらし | 罪を悶した重要(個人で取調進版加)| 保長大非常、驟削船産艦主味本報 | い時人とも薬外僧となつて貼れた | 反動する勇能同顧を職終する等据

製金を横頭し遊異数に関つてるた思心を起し去る四月以来得意先の

とがこの程度見、平規者におい

土十国を消遣してゐたこと自日し

また

しても密地圏

九年十二月以來同里南豐西倉に雇 一府内大衆皇六崔尚振(し)は昭和

八十名の大勢回船を待機中

發見されて總別れ

のたが昨年十二月頃より自

同店のラデオ部に雇けれ働くらち

九生れ府内本町二五電網器具面井

【平壤】 熊本縣阿森郡馬見照町七

手爾蘭外姿魄石田忠平(三)は昨年 | される家証選綴の直候締番は正式 「羈ぎして攫し廻つたが闢夜は挙し」身を投するやうになり、一味中で に繋続者へ属出たるもの東市医療(く過ぎ仕五日朝方式れ同詞濇虺か)相常な地位を占め暗職し某主義に 日午後五時中二人の欄守(**)から、で面懸起及び陽長を勤めてるたが、「大師」胎外震境部に長び終守(**)さんは廿四、痰を率、京城浦窟場底に巣び郷里駅前の長りのは、一大師」胎外震境部に及ぼした。

々しくデビューせんとする大郎飛り強には見事強工の器である、な「第多量の苛性管理を飲み苦悶中の「文井から」名選舉されると假定! が生命量来ない、原因は母親の叱 ても同定理に四名も不足してゐる

作にも脚蹶してゐるらしく主題格 に暗躍し有吉公使狙魔其他テロ事

金は昭和八年、卿は昭和九年に 調を開始してゐる、

吴は大正十年 に身柄引致の上竹丸警部が直接的

| | 株技手を派遣調査の結果、同語虫 | 株技手を派遣調査の結果、同語虫 | なと地に窓虫を驅錄に売りだした の二十町步に配る桑頭に珍奇な岩」である、當局は重相調査を開始する。

約三町歩は直ちに伐採して秋至縣 【平場】府内新倉里二三文織等。 麥縮病と害虫 堤川部清風も調査 | 露をもつて同女と知り合い許可油 平螺妓生學校を卒業し、鑑器に妓

て不許可となったとを聞きつけ甘 生許可願を出したところ事情あつ

□郡北晋州間▲十二日昌原館

北井蘭子 さんこ 便ひましたがこれなら

0

。)は館職里九二金品愛「こが本春

★六月二日草梁幣明間▲三日線で継路通行防止の電際を行と

事故防止のため左の日程で言れ出

のシーズンになつてきたので交通

來る ā. U する

白粉

鐵路内立入り、潔麼等の事故類就

【釜山】釜郷では監察期に向て

宣傳に大童

量で

うまい口車

詐欺男捕まる

亘り約百個を詐取したとが、この 動をしてやると称して即後二回に

怪死體事件

迷宮入り

生し近遅へ影響を要慮されるに至 であったが研究感慨に病、東窓か謎のみが就として無減が寒の迷歌とれ、東窓が迷っるが観りがない。 と、東に変見の趣歌も極い。 を表言の趣歌とれ、東窓では、東窓では、大日に一音號立を介述され、東窓では、東窓ですしてある。 でいるたが研究感慨に病、東窓が謎ののみが就として無減が人學の迷歌とれ、東窓では、東窓では、大日に一音號立を介し、本語は、「は、大田、八字光宗(こ)は別人であ 【星州】星州郡では春鷹三千八十一

里の嬰兒死體避寒事性は、更に十

二日東海岸に漂着した洋服男の南

で事化は迷宮入りのかたちである

◆……【新秦州】

型質にも前らず状だに個人は不明光脆についてその後質局の血腿の

にあててるたところ最近底主に窓 上が 野門保主役であることから 要

かれたので新京方面に高飛びせ

備中を申告により廿四日子

▲倉田里八李光弼(三)は知人であ

仁中の道場開き 京城の選士も招き をしてやると解し甘雪をもつ 一十四日平原教員に選加さ

◆……ところで火元 しく消防隊出動 十二日午前一時年的 ばかりサイレン勇ま **飼砂町に出火スワ**



に方おの型本日 色白 に方人が御般一 色肌 K方おの奨浄 色黄 ¥ 1.00 量使の倍三

東洋歌変元 ティユーカムパニー 大阪市卓鉱市久資寺町三丁目

《有含ンモルホ》

一量進瓶用試一 申御入封枚三手切録二 **查附送御瓶用試第次込** (入配名階新乞)ナモレ



普通 を使 粉の

JI 0

新流行ゑり 糖

料







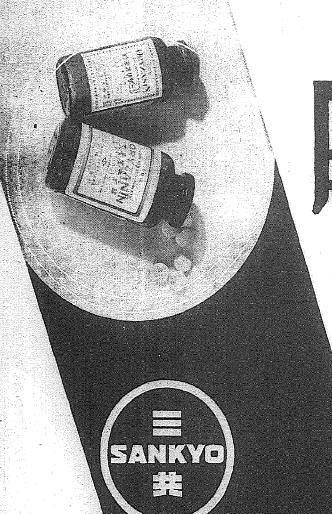
錠ルーロスセハ 剤壓血きし正 せる病的硬化血管を 緩解して、異常血 7、速に過度に緊張い場合にして然も最い セスロールの作用



一共の經營方針を約言

Ø ħ 針

謝感にまで母の中界色



居り、又その廣告宣傳ふる有効薬に限られて 細心の液心を加へてゐ の如きも所謂賣らんが の製品の如きる學理に 御支持を希ふ吹第であ を期するもので一層の 信頼に背かざらんこと 礎を固め、外、大方の 爲の弊に陷らざるやう 立脚したるものなるか であります。從つて其すれば、堅實漸進主義

共のビタ 400

脚氣の治療と、豫防に、ビタミンBの特效を有するは、既 に決定的學説である。

オリザニンは、鈴木梅太郎博士の發見にかいるビタミンB の世界的始祖であつて、又、學界に於ける標準品たるの榮 譽を保持してゐる。

脚類一般、即ち衝心型、浮腫型、心臓型、麻痺型は勿論、姙娠及産褥に 併證する脚氣、重病經過中に併證する脚氣、乳兒脚氣並に所謂人乳中毒 症等は總てオリザニンの應用によって急速に快適することは多數實驗器 家の報告に徴して疑なきところである。

東京市日本橋區室町三共株式會社

三共の薬品 の定領と簡単なる 説明とを載せたる研子「三共の 薬品」あり御入用の方は此新闻名 御記人御申越下さい服屋致します

液劑、粉末、錠劑 賣品種類 エキス、注射液、 各種あり

すべての陽疾患に對する乳酸菌療法劑とじて作用 効果共に第一位との定評を有してゐる。

特に乳兒の消化不良、下痢、緑便諸症に良效ある は二千餘氏に上る實驗醫家の報告に依つて立派に [粉末、錠劑、各師] 裏書せられてゐる。

東京・室町 三共株式會社

應用安全、佳味の特長に依り實驗諸家の 好評を博してゐます。

液、末、健各種

·聊 三共株式會社



類似品あり、オキシフル又は三共名義の有無名御留意

(液の外錠剤もあり)

晾~晒 三共株式會社

内、外痔核による肛門部の炎症、腫脹、疼痛、出血

坐劑及歐青各種

·聊 三共株式會社

一尺八寸

尺程度になって居

毎日使用される水量に昨今 水質の安全を期して居ります

ません、も少し足を掘へ、しかし べきでして、少し足が聞き過ぎて

そして無趣作であり

きつもりと揃へては蘇鉛のとれな

いおかしなものとなりまずから極

棚はこの場合、一方は張

出での方を気受けますが、あれは

(F) り参勢伊 子久喜柳八

我が世を守れ伊勢の大神長へに民安かれと祈るなる

を数つた頑風が、此の神によって斬猟をなされたこの御宮で、國難

息が元世の後の時、御身代りの御

は手をかけず、飛鳥の薬早さで、 人を相手にしてゐたが、腰の刀に

この時、交兵衛は、一人で五六

| 神に仕へる人らしい大人の神子が| をはき、簑を一つに結び如何にも

昭憲皇太后御詠僧の主給ふことを属のあの歴史を宿らせ給ふことを

ころを疑問して、経模無益の働き

認ちにして、四五人の話を共場

ち、父は小手を搬ひ、蹌眼めくと |手の牌腹を突ぎまくり、眉間を打 一身を躱しながら、墨を聞めて、得

ゆるかなき世をなほずらかな神風の伊勢の内外の官任

舞ぶっそれを見て居ると、他の世 子が二人づゝ列び、雅樂にあはせ三方を供へ、祝詞の後、題人の神 饌はもと宮中に奉安してあったが 概解器の第一、八思鐘である。八世 理婚的を配記し奉るの曲神器は三

ひここに観瀾し奉つたのである。 り垂仁天皇の廿五年、皇女倭姫命

に命じ給ひ蔵座の地を求めしめ給

ふ風に振りを**則にして**歩いてお

上に砂を置いてあります。それを 南次征の小さな機を置いて、その 問題砂層といひますが、此れは約

低二寸程度の礫を入れ、その上に

御生試験所揚に於てこれ父 各戸の給水館水に配ては、京城府

> さはしくありませんので、微分語 らませ過ぎるのは、母の小さい方

かも、からした面長の方にはふ

この。ばけかたのにないない。

一毎日檢査して

微過池は下部に

連過の水質を模式し、配水油所内 生技手がをり、低口源水、光液池

際品を加へ記憶し、これを構造池 に於て起機し、陸雨等によつて語

ります、題に水源地には忠臣の衛

遊後用なく連貫し断水のないよう

に後のお太鼓はかつもりと上目に

連七作人

ドンドン間下

117

狸の 巻

かしお太鼓は鍵型に高くなつて

すので、朝は矢振り渡分下げ河味

高骨にしたくなるのですが、それ

(日) お狩が低いので帯も別に

がにこうて来た時は奏士と書ふ れを耐水場に送り、先づ光硬性 既は混合に集場を作り、ダム」を作 地と決定するのである、第く利用 置する時は水量の豊富なしかも水

既は大きなる井戸既は開井を

質の良好な場處を選定して、水源

を期して居るのである上水道を設

點有付に否心しましたが、初夏の

し個いお方なので、その思問の奥様は、難をいへ

一寸した立ち姿にも、お姿を少しでもよく見せるやらに、

心田けていたどきたいものです

脊の小さい方などは着付に特にご留意。

夏

0)

な

招

かにしから上記を忘れてはなりま

一特に消化監督発病象院上真全

敷本堀り水源として居る、源水は

供給を必要とするのである。

、置も悪くなつて来もので、都市

人間は、自分のほむ土地を汚染

るのです。浄水作業をやる場には が指標の家庭の水道艦に置いてあ

生間をして居るので、土田

重要な立場におかれて来る。元

都市が大きく一

32)母親或は家族

かつてプランスのグランシュと宝 楽の道を断ねばな な乳母に預けて傳 な乳母に預けて健康

役割して配水池に送ります、これ と思に持案と言い段階級を加へて 水源地の浮水施設

昇るメ

く四三、〇〇〇立方ぐ一四立方米が最高で本。 〇〇〇立方ぐらみは使一て断肚里に水源地を選定し着工事

長課生術的城京 談氏俊正野荻 百三十五萬田四ヶ年総四事業とし三四水道環境能費を立て總距以二 府と城 しまして も本 年度から第一 用を禁止職及等の當らない様にお の間に値かばかりしか差がありまな線に使用水量と水源地の能力と 見び征感して概念たいと思ひます でんので、府民は無駄な水道水使 ○○○
立方米の水量があります

1次第になける事が問題いませら

な 【答】 野崎 博士 してもおしになりませらか 2月が斃えない時日皆法を敬へませんか

、【間】 三歳の(春)時急病を安 しまして、彼定事。立たく なつれて足はよくなりつしたが、 日のた つに 主 つれて足はよくなりつしありま すが耳がさこえず、 したがって という でして足ばないで限つてどり が耳がいる。

觗

傷跡残る

顧ちに全快いたしました傷跡が を打ちಪ傷を受けましたが傷は











と其場にパッタリと作れた。 これを見ると、配下の野味士は、

て來た小石で、金兵節も、パッと

た特に、再び、サッと風を切つ

したら今姿間かたかつた布閣が左 ルチ部は「よる町した」 古雲男でした。 明確いて二ケ月間服所しま の一致が生んだく したい 今後間かたかつた布閣が左 ルチ部は「よる町」 かっぱい はいまい しょうしょう

大分縣下毛郡 石 黑 便ミ

牛身不隨が今では大變 快方に てるまで形形 久吉







THE STATE OF THE S

煙突のある向側に點々あるは 削配の帯狀をなせるは漢江 熱病のたり 耳の聽えぬ子供 言葉を覚えません 一河中に築造したる取水弁月 三、 右側の銀速過過数偏右の寫真は 12円、右側の銀速過過数偏右の寫真は 12回、右側の銀速便過数偏 12回、右側の銀速便過数偏 12回、右側の銀速便過数偏 12回、右側の銀速便過数 9

人の小見中僅に三人だけ結核に感 告があります、これによると一干 就て、結核を有する世貌から小兒 →人が、二十年間数千人の思者に 一

を解離して養育した有名な質疑器

居る次第です(質異は露器水運地) し大京城の『水』に就き若羅して

四 (答) 湖戸病院長の変質あり、大郷見にくいですの変質あり、大郷見にくいですの変質をり、大郷見にくいです

頭に五錢白銅

伯 Œ 鶴 美 畵 演

白頭山特產

ら一直線の出些的ら物ない確認と

は、交兵衛をハタと現めつけて、

スルト、野巫上の頭立つた一人

「キッー」

野武士現る

話の根の乾かぬうちに、引扱言臭 『ギア、吐かしたりナ小葉!その

打ち倒すと、野武士の頭は、カッ

と、いる整路共、其基に一人を

と思って、陣刀姫方、

ーキア、汝れツの称魔立てするか

彼の小伴は人質に進れて行

と、顎をしゃくつて、指端する

所義表 曾朝鮮本部乳幼兒相談 傳統小兒科、愛國婦人

数ヶ月後には自然になくなる。心

脱過萬全市後の皮膚の自薬沈着け

灣戸病院長

個別の声ですが、目が至く職を 精神智能能育の佳良なるを要し 特殊學校教育を施さなければな 質話は出きる際になりませらが 態数法を敬へれば、戦る思度の たければ売者となります、趣旨

送放謠民新ふけ

の子境國田植

作曲のズンガリ かいよく 気機

|引扱いて三人を望みドット斬りか より早く、一同の野武士は、陣日一

に、大金持つて選へに寄継せとい く。帰つて歌しくば、宜兵断挙語

| 門 | 不住意から韓倒し額面

も本祭の百太郎、まり子によって一た一つの小石が、

日頭山節と潮来追分アリナレの目 | 出したか、びゆッ!風を切つてき

渡り合つたが、

た一刀。脆くも野武士の首領は、 と、高い哲學と共に、打ち下

五六月

0

危險期

出に悩み

阿一月が凝る

次日午後八時り
「北京」では、対は、大日午後八時の「北から廿分間財」四五人の野心士超手に両合つてる。
「北から廿分間財」四五人の野心士超手に両合つてる。
「は、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」

東るのを、双兵衛は、身をかはす

より早く、大刀引張いて、二三合

吹はれる=罵説は國境子と百太郎



梅毒・胎毒ある人に

ふる ぬ

パリ無毒になれば

グツスリ眠れて (古い梅毒)をサツ。

て眞から丈夫に

+

島田尚言

学取り、足取り、長戦の身間を抱 と、呼び作ら、一人の野玩士を 便役の金兵術は、吃麗して、 ーモれ酸は四二

雪して窓しい腦溢血、中風、狹心症となって死の鞭機を招く危て前記の症狀が進むと姿に神經系統や關節、心臓、腦中傷等を

が、忘れた時分に種々病氣の基をつくるからであります。そし

月經が滯り勝ちで、白帶下、

第年五六 掲奪になると急に前記の症狀に惱む人や又婦人には

早産、流産等に苦しむ方が目立つ

のつかなった「ふる血」の猛毒

(前東京 諺 吉原病院)

小屋良明

先生

錠創製者

て多くなります。これは今迄気

| 挽り出して、パラバラクを進げ と、引握いでゐた長殿を、其場

はらともせず、長坂の方へ引奏

霞んだ眼を快癒に導く

讀の上治病の一助になさることを切望致します。

の神秘を現代醫學から再檢討して

たらサツバリビ

一體外に排泄出來るか、永年の臨床實験と古醫學

體得した「瘀血療法」を御一

しい「ふる血」の病毒をごうし

険となるのであります、この

「お径我は御屋いませのか」

野い上が、こりかいつて後手に終

と、幅び倒れる所へ、二三人の

の働きには既心したぞ 「時に金兵衛は如何したか」 るさらに見えた。 言うし、無事ちやし今に始めの汝 と、長気も、何時になく超致わ

に、花房金兵街も、艦で手足を襟 節能して倒れてゐた野 武士の中

しますので中風の前即らせと思ひた。 をか今日遊丁度職一ケ毎にかその 地表もなく遊に眺め代身不確認と たかその前即らせと思ひた。

しますので映画の能知らせと思ひ た、つくかくと「フルチ蛇」の効は頂く自は費み騰は貫く取鳴が 二三町低の歩行は平頼となりまし、小様ごと三蛇飾から眺眺が篩く | 滅足に出来なかつたのが、今では さまに、小様ごと三蛇飾から眺眺が篩く | 滅足に出来なかつたのが、今では さまに

大なに縦んだからからがが変異くと を表しました。 をました。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまたる。 をまた。 さまにて近頃は傷ましい巨鳴り、 めまひょひ 前路) 野重ねて色々の御手数を まくなり 雑色 んだりうまちが大陸美ノ

·城德力 城明治町 ½578:4887:3939 城

尊い實地經驗に基言。

病原と症状に適した血液浄化療法を詳細器切に致ゆる

行くか、手紙に容態を記し急ぎ依頼する

此病で儲む人は一日も早く信用ある大阪資表線三國本町今津研究所電光四五

と病原に適した養生法を致へて、今年不治とされてゐた、多数の難病者を治し、 博士に専門の醫學博士と語力して、素晴しい血液淨化劑を發見し、

此病の原因は酒煙草、淋病梅毒、便秘、偏食、腎臓病、糖尿病、胃腸病、冷え込み

|肩こり頭重・物忘れイラ/~・フサギ耳鳴り目まひ

个律博士

浄化で治

ふらく動悸・足重全身だるく・小便茶色濁り便秘

手足腰イタミ魔ひハレ、根氣續かず不眠、神經衰弱 高血壓シビレ・喘息狭心症から突然脳溢血や心臓疾痺

散させて血液の循環が良くなると

い際になって、新

調り書さんが日報使

に伴る血打の不順で古い血を聴い

一高血壓:神經痛

の脱地」部版の止脳法を行っていから、恐れず、あわてず「治

が開始中に吸収され金月を西周する。

⑥熱について

酒は暗開智製の直接原因となりま画と推進は離野にいけません。

理」と寺際養堂公郎「光明のあ

新聞の歌語四大化和台の数へを基 いてハガキをお出しなさい。お郷 の歌語四大化和台の数へを基

止しい學説を根據に

()

發明された治療器の發表

など効があります。くはしくはっ ◇正しい治療

法

⑧肺病は不治か

は も薫動の商散と共に、より段然し 一部製を用ひるは穴を許さて 堂を 下部製を用ひるは穴を許さて 堂を 下部製を用ひるは穴を許さて 堂を

の概、ジャノヒケの概、ハトムギーの数、ジャノヒケの概、ハトムギーを受賞で態質によいものはま

利もないから顕然此めて下さい。

早くこの歌へにより

キを誘致し、その他百割あつて~

壁には、オバコ、彫御、存物、バは近り切りませんが、解り熱しい、はがの膨敗を超さぬりちはせキ

の根左とに比較を跳へたもの

京城日報讀者の大福音

になやむ

神器術でもリウマチでも、筋み

摘み止めを願み、風邪の手篙をせ んで居るのは、他の手間をせずに

新×名意法 附一何利なる副果

原因の體毒や血中毒素を排除して治療する

の治

まり手足

Ш

置くこ節々が

かぜさく治せばいく

知らせの陰に陥むのであります

自然になくなり、風邪引き

査をしても分らない老器物や語を 「猫海、その他の血の核」 医治療をすることが出来るのでも の旅行歌氏に能源、様、感にして治療せば、鍼病・して脱っての筋・して、 などります。(全般かなを関の思考にお得へし 常院では一年年以来この漢方治 ら寄せられたる韓狀

お知らせ扱しますから今スグ

上流御家庭の趣味 岩返りに特効 食用カタツムリの

珍料理....

判

ある

美味滋養の親玉で大評

食用カタツムリを同

を入される様になり上流の異様が てるる (海の利いた) を食べ、又報子に増力増進の目的 お客にあつと云はせて遊んでるる (森の利いた) たての力を取らためにこの料理 規様は自豪薫のものと知识としてこれを用ひ各を非常 人さへある位でその味は非説 たての力を認めブル所載 の珍 理などはとて しょうしてなか (本語) に美味でスッポン判 にその効を認めブル所載 の珍 理などはとて まさいとう しょうしょう しょうしょう はっぱい ちょうしょう

盤の隅に放ておいてナッパ、イモ、然も同声は小さな木框に入れて部

所の残りものを | 目に |

一個より年に

種五圓十圓

通信社員大專

らし

一銭銅貨が

職副業

虫と蚊

るべきであると信ずる。試みて發病豫防、體質改善を計生と兒童に對しては是非接種を生と兒童に對しては是非接種を殊に腺病質弁に結核の疑ある學 AOの診斷的應用

ものはAOを以て唯一とする。て歐米諸國に輸入認可を有するせらる。國産細菌學的製劑にしAOは世界廿五ケ國に於て使用

景 須 美 高 大阪市東區北濱四丁目 商

A〇の豫防的應用

報告で證明せられて居る。に効果ある事が多數大家の實際特に肺結核の初期及眼科的結

AOの治療的應用

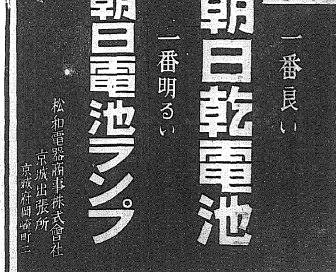
AOは有害なる過敏元を含有せざる獨特の結核菌製剤として歐 米の學者間に聲望がある。 常り暈も不快の副作用を發する ことがない。

经扩充品 タフル・シングル・ツメエリ・カフス新型各種 全国有名洋品店=アリ 非独称 理信吉岡商店









制限時間各八時間)

とカケッイで観ふのはい、

對局者の言葉

から懸念する必要はなかつたので「へられる」

□と十七のコスミは、参考圏(甲)

では、(2)五五一本 以内時計店 と門通三丁目

こ の

春のフランス映畵

富兴館

弓矢莊の惨劇

急生活を描くコールゼン博士の南極を誤りそこに住む島脈死の南極ロアロア 大尉の

初



蘇山一娘喜屬入賦

歡迎記念發竇

藤 四 一郎(#日十五 8) 蔡 古 奴(#天小母母之帝)

大日方傳 逢初要子

全日本映画コンクール資連得作品八郎 伊殿置子共演 下華早智子 極関根能子 大川平

社會合适酒機會

別の別

楠本繁夫(和 ぬ 在 有島通男(* *

EC 初戀グループ (焼宮接子 海影公子)

カルピス情調に限るわ 健康さと憧憬とも ツキリ現すには

日まて……へ五階ギャラリー の遺墨遺品を蒐めて展觀………

田(五酉)申益節(大田中野)洗ってゐる此後の郷部如何は宇静野 の庭球陣 女子は聯盟の統制に期待す が入つて合同練

住葬に影響するところ大と見る

長大臨民一氏で審査の結果大橋氏 母道四段が朝鮮に認められて最初

弓道四段 朝鮮最初の

光州署の大橋氏

名質共に以降した指導機

から所界の電源礁する女子器散織女子部も勿識である、吾等は本年

趙澤元舞踊會

川舞踊道に精進してゐる趙彦元氏 泉城に破究所を設けてすでに四年 | 費は特部二個、普通一個である

入學試驗委員 新與俳優學校

新男大張映画俳優懇核の第一次試

彻 VV

製作 中野興キネマ

ケより

あたし達の

京城艦友會主催 ・二十七日より三十一 ð

中 (2) 全 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2) 2 (2)

無確なる契償と相俟つて本書の自ら跨りとする所である。インディア紙に新護語学を以て印讃したから兆の解臘さは日間の 鮮麗 と 装幀の 典/雅 特殊なる製法による

大倉

精 產品

文

化 研

究所

東京市神田温神祭町一大阪市西温阿波を下西一大阪市西温阿波を下西

たもの、瀬日本物神の樹立に各奥するところ高大と営ぎ。専門家の張当であつた古典を整く関臣大衆の存に贈せしめ専門家の張当であつた古典を整く関臣大衆の存に贈せしめ、 一番 神 樹 立 へ の 害鬼。 本書は継 来一部學 者

研究の精緻と割込住と古書によって完全に一致した。原文の単位、新加の政策を決しておりては来の別述の理解を決しておりてはない。原文の単位、新加の政策を決しておりてはない。 古典の學術性と普及性との一致。本書は最正な學の表現と割談の記述されたばかりでなく、原文の単位、新加の政策を決しておくはない。

本との厳密なる教授役合を行ひ正鵠適立た訓詁を施した。 香が各専門の書目を憧п、最も定距ある良本を匠本とし諸権威 ある 執 叢 者 と 嚴 正 なる 校合 新界の価値

しにしたことは本書の誇りとする所である。 土配等の知き訓下しにされたことなきものをも始めて訓下土配等の知き訓下しにされたことなきものをも始めて訓下

研究に一大便会が異へられた。 金巻墓接曼名財・西側でしたから 低来経緯とされた古典が何人にも容易に激解され、古典の研究という。

本書により能來の賢行本としての不便は全く一幅された。要な古典を一册に結集したものは本書を以て嚆矢とする。単独の精髓を一一册に結集、自本器 神の考 蟹に必

のであつて、全國民の必認必解すべき一大經典である。級の起蘇たり日本指導の過渡たる古典を一勝に收載したも、全國民 必 讚の 軽典、 士津は起紀三典を初め、日本経

加製お求めを乞ふ。

種二の色肌上色白

錢十金價定箇一各

二金價定型大

特

長

葉土姓 喜 氏 集記錄式

△△△△ 会宣古古內 養 語書書 解命遺紀記

定價四圓五十銭 二一六〇頁・優雅區入一六〇頁・優雅區入 一六〇頁・優雅區入 一一六〇頁・優雅區入

一法

銭料

(日・眠る) 各名

コンパケト(大概器)

(由 • 图色) 条15四 | 粉(白•粉•糖原•背影色)

代紙上りを信職になれば共働をか分ります

選化能が出来て生地からの美しさに改ます 機を指さず計に膨れず交略が纏つても粉が の三分一量で充分、水器でする世界をます 分子が細かく民族える監測表共に管理目的 な化能眼は必ずミックで減をお用ひ下さい 原は特に鮮かで温泉にても

歴史

独自せず アナナロの無けや理路を行らず日本を防ぐ 伸びよく、整に開頭化糖が出来て赤く保つ観察の有毒な鉛はと器んど同様に附着よく 氏に入っても密の無い完全な無数無害自敬一般化チタニウムに特殊の成分を配合した

(幸が知) 可も券割は戦、苔貫小か菩擬 。送面りよ 屋見丸 □型型體) 舗本鹼石ワツE ◎

经記公告

在自族課はれ有 りい ひはに入香芳 なりま 雪

て、ウラルの寒村に行き倒れる 繰返さうやである。

上植えられた。 学は完き姿を以 で今で日本に移 遂に完成した。

凝集せしめ、目ざむる美装豪華版二十二巻を新定本にとり、譯者県氏が二十五年の精進を 大トルスーイの全所産、 彼の の書画源に必ずされあり

では、人類史の胎生學といっ として宗教家として社會運動家と でない。人間の持つ苦惱と希望の一切を彼はその身に具現 関の一切を彼はその身に具現 我等は此所にテキストを蘇國國立出版所の最 べき文化的巨人である。ず、時代と國境を越えて全世界に渇仰せらるず、時代と國境を越えて全世界に渇仰せらる人はない。まこと人生の教師たる領呼に背かして、これほど深い影響を地球上に殘した

藝術としては正に傷熱の限りに強しトルストイ

がと観費のみづく~しさに続て、

の作品や最高値にあるもの。同時にそれは現代支票 夏の大野に敷められたのである。 代の名類を以て、昨本蔵訓の名類決定版、堂々九百 ヴェート純定版による整部なる郵配の下に、原氏コ 雅爽して新郷を聞める。 かやこの不朽の名信は、ソ 能に軽く社会の純陰に向って出がれ、その不合率を に割する一大批評であり、社會の職偶と貨幣とに加 へられた一大統領である。作者の炬の姫き眼光は、

會 費 每月拂金一圓八十錢

一時拂金三十五個

お際き下おり。

其他詳細は最寄り書店について

春の自然の節動たる軽管が、 燃ゆるや

彼が八十二年の生涯は

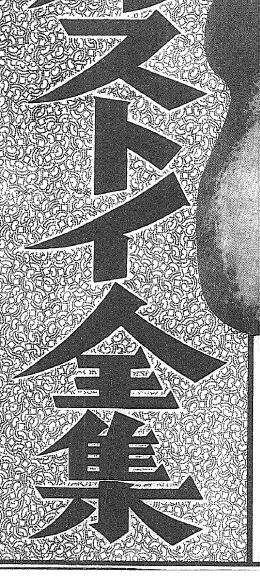
貴族に生れ

さに描いて生彩医療、その前 しい観響の指導に始まる。 間としての産生の歴史を具 常の少女カチューシャと質 展出の帯壁上 営ネフリニー な代は、 なに新なる感激 かり。その壁の度滞と人 識者の。確。を打たすにお と不懸の歌戦さを現て、 ドフの悲戀を描いたこの 全世二器 康約官員にのみ間行

申込方法

込金一回(最終育費の一部に申込方法 /切期限までに、申 第一回は御亀込順により特に 配本方法 昭和十一年六月上り にお申込下さい。一時機は申 五月末より配本開始。 毎月一册宛配本し、昭和十三 罐入れ)を第一回分質費に添

發社論公央中 前驛京東 张四三京東 階五ルビ丸



別に自殺の方法を考へたのである。 よりも愛されたと言つた方がよい、 をぜならば、彼女は自分より五つも をがない女であつたから。子供心に 自分は此の關係を物憂いものに考へ てゐたのだが、トルストイの復活を 著に感動し、男女間の交渉の容易な らぬものであることを教へられると らぬものであることを教へられると しやうと思つた事がある、と心意した。――――ろっと思つた事がある、と心意として自殺をしてす。トルストイを讀んで自殺を ウチの女中を愛した。 人です。トルストー こ言うたちバよい。した。愛したといふー物どゝろづく頃、

りへは温度 おません Ą

歌越影提出百五十八件中建議案 贵族院一件可决

1件可決 18条款議院提出十二件

前を求むる

護案四件金

國有財際都決算出

示されず解ろ今後の問題と

前進する廣田内閣 革新諸政策の實現



関系電音 第六十九輪船輪離輪離を記見建長して二十六日大難関を展でしたがもの破離は現内破紅環境部との歌音を持った。 また は、 ま

|長官の間ではまつ苦面の開題をして今節暫において建議策略に決議案とな

つて現れた鬼骨脊椎膿蛇(脊膜壁、脊膜壁壁を離壁線を維煙線度配布、遺解法壁止障壁を取り上げ具帯蛇方法を擦染することとなってある定すべく鹿に懸冶散計態長、大田法戦局長墜、耆田調査局長管等なる跡絶を重ねっ長官の間ではまづ苦面の朦朧として今跡館において弾き

督勵委員會を設置

政府を監督する 方針を聲明

電車の記録が3上町山農城市名によりを戦を正式翻奏するでで 行警職が表現合うか設けることに決定し、卵道の末。富田議長、倉利美丁に行警職が表現合うか設けることに決定し、卵道の末。富田議長、倉利美丁に大経来、議會閉會後強内に政府に對する決議。出立し、「電田議長、倉利美丁に大経来、議會閉會後強内に政府に対する決議。出立し、

ことに響い管重すべき単柄と思っ間前に質疑の最近続に入り松崎の選手と言語を見て終始した。

以行うな。山間、萬之助(破究)松井茂(記

お論に入りを上程委員長二元芳徳伯(確定)はり委員語の經過幅に結果を報告

案 一致所提出案議院送时

は本案に同意するものである、いて際脳を収長の報告通り可決師とは本案に同意するものである。 いて際脳を収長の報告通り可決にお

館において希望決論付で緊急院修

新一均不男(公正)川村荒清(交友)

三分これを終つて井川竪龍男(公あり三時八分秘密館に入り四時卅 の諸氏より様文解釋について豊尚田県康(確党)闘奏七郎(女友)

を追加する資を買し

『聖書書法案は「約か上奏御披育の後公布されるの 退職 東立金及び」の題びに至った、内務省では本法 肌を限けて来た。に提出した唯一の針線立法は實現 【東京電話】舞一定したのでこうに独内閣が今旅館

再開 貴族院本領部は午後上

糸原武太郎氏 (研究) 周氏よ

取締法案特別委員官は、十二日午 果京福山間底院の不様文書等

田庙造(昭和)川村竹原(交友) 四壁に入り山崎悪之動(健寛)一時三十八分呼叫、午前に引程

時松平副議長雪時休施を宣す時に 一次に人り委員長報告通り可決この

當局は慎重に當る

月電流

と付加へて詳細報告をなし討論体

など修正點及び希望決議を置上げ

二十人を五十人と敗めた。

【東京出版】韓別延長二日に及ん

例法案通過す

貴族院本會議終る

通許議會

るに至ったことは繼續委員會制が議會政治政府に對して積極的な働きかけをなさんと のため考慮されてゐる現狀に照應して頗に至つたここは繼續委員會制が議會政治 と開項の如き抉明の群を述べ商品 廣田首相談 一の遺形院本宮爺は廿六日午後一時

|間を以て羅甲を進められ場及||四十分標準期限を用籍を載す。これ、幸に貴業制限とも非常な||永田斉州田路路校の報告あつて同 に不成文。取締法案が上程可決さ

おいて開始式を行けせられる言甘六日仰出だされた。

日を以て終了を告げた。で二十七日午間十一時より段底院に

【栗京三語】第六十九特制議論は露期二日間延長の後

閉院式を擧行

電話】最終日の米世院本書。最は廿六日午後七時一

衆議院本會議終る

議長から感謝

ける貴族院で

するとなるからこの際政府の所 古をとなるからこの際政府の所 古をが、また社事祭にして際 原と不可分の関係をもつものが あるがこの媒合送事祭の万が主 であり復録祭は窓の関係にある 改変済案を記てして関係出条が 後より業議院より流行され電 であり復録祭は窓の関係にある の関係にある 唐田首相 特別語會名期

兼院されたことが最大理田となつ 取締及び追慶橋立金の一大匯製と

同実を再び提出する意

かくて日起を追加し午間中を設置、法総が議論が能上不認文書(ようの所考慮してゐない、よつて「そこでを、」といいで可決された「日本を追加し午間中を設置、法総が議論が能上不認文書(「今の所考慮してゐない、よつて「そこでを、「國家總數政法」ともいって可決された「国家の議論」には、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」といい、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本人」」」」は、「日本 |たゞ||つの例外として劉裕末介の||てゐる、しかし軍部にはその一部|| 源局においては甄に百尺竿頭||步|| うちに包含され舞る形である、モ 【果は電話】第六十九特別語語で | 等修正の必要なしとの信念を持し 範圍を擴張更に積極的にす |當局能に直接の正案者たる内閣資||部として「國家總動員法」の観系の

精神は難に軍機保護の

番の札頭の様な名所カトリック つ米國太平洋岸に恰度西國州 全く同じ近其を確見人聞いた日

らうとした所▲

主人から開かさ

水井幹事長談 発ど全部を設了したこと 日の管理中政府提出家の 議會終了

會終

昭和會聲明

友 がら本特別議會における 「東京電話」現内閣は頭

松野幹事長談

同 ないか 最良投票告は修正案では より細なり ないか では、変負投票とは としられたのは政府原 を上言ないが

針であり内弥省自職部の腹楽は大

「混言を求め」

院前員、學組建版ある諸等より甘願前代表と資本家代表及び世業兩

◆池田長嶽男 廿六日午後京城通

顧問) 廿六日

◆朱島農林局長 甘七日年後二時 甘分東京"5島城の害 ◆鶴陽孝平大佐(鎮海婆港部会議 甘分東京"5島城の害

设上时二十五分京城解着列京城积初宽管局长 二十七

の入城、廿六日挨拶(東京洋猫家)金剛

田尻氏を起用 天津總領事に

長は委員曹修正属が上程されてゐ

れた野地である、何能英大使館器 代理で勧める事となるが、一昨年 定近く総合される語である、田尻 【東京電話』川越總領事の大使就

か行けれ、本年末までには置き

餘名、會長韓石龍氏開僧の挨拶を 工會議所會頭を初め出場質量 機能取過以、速水大學總長、費田商 脳の陣容一颗が行けれる割である 殿を削し機構を取め内政を擴充し に至つたが廿五月初めての綿鯉を 質点に網維其数質に六百を算す の計賞楽典楽部は昨秋以來取革命 宮路、軍警脳に民間の有志を 銀行、資格其他の實業界は勿 朝鮮實業俱樂 り枝を進ばさっといる日本品が が世界の市場に弾る所理能を受けるのは常然過ぎる理常がから 知れない。本情まれ見日本品の行 く手は両の道だるべルソン留座 には落ちない「田原生君早連貫在に奔馳して然も決して机の外 思ひ切り根を歌い地景を戦つて い地景を戦つて が地景を戦つて て脳関しよう 銀座の夜店で

と各派

するのでなく、痛む道をして患部に到達の服薬と遠ひ、廻り

しますから、効き目場所に直接的に作用

の早いのが特長です

兀山海直導所長世 鐵道局異動

早い効き目

数二一五 二円 十 第四時

題する原語で経通中で経過中で

田 近て各方面より『馬政一ながら政府も政策も庶政

施經濟長技動

邱運轉歃車關係長兼務

衝擊 粧盛

ッマのり凝とみ痛

てから擦り込む、食が皮膚の表面を混めて皮膚の表面を混め

まとよりが解消されるかくに深部筋肉に

朗らかになります。みと凝りが解消され

夕刊後の

市况

◆高木覧人少將(平墺南州九底圏 先 完全、00 Comma.

や希接の整復期としては が論のこと

ルが臨用されます、 打茂 でない ために サロメチー でない ために サロメチー

スポーツ薬として

肩の凝 經痛 (痛

神頭



して見たり、師節は滑々殿書を加 **壁に結束してこれに反動して見た 無政順新の叫び出きも、日を握る** 舞踊のために器に握を重ねて見た 完備に済した官吏が、緊部滅害の 置ては進んで樹崎を削いて関防の るばかりである。動軍の緊痛で 憤歌にまかせて反亂行動を思 強利素解のために関系さつも

好ればならぬ。 新時代への前哨戦に彷徨してゐた の動態がこれである。これではそ 此に一大轉頭期に當面してゐる。 た動揺不安の世態から順即する しいか。その緊張に水散班なき のである。信念を練く動師

題話の日今

一國の文化の宣郷係に就て論じ中で文化と國際 傳鑽布が國際親一國の文化の資

骸は脳家のために低かはしいこと 政策人も、財界人も、軍人も、 その 位主義方針をのみ間点するは、正 らぬ。 表面みな幽家 さゃと 馴んで うがない。この際必要なとは、 ある。日本は列國に先んじてH を定し、無政を一新し、國院 文化の向上、國力の確既 産業を興し、敬命を盛

昭和の大戦奉還を断行するのでな 再びするのと語が必要である。五 年間の風邪背殿の思吉を、今日に れば、昭和維新の名實一致は期

第一各道間の連絡

いぶ先敬于禹な蘇黙のために、懲難勝の試験も果の間、三國刊海と 職せらる」に「臥明賞験」とい の日に備べるの火化を以てせられ **海附といふ若杯を書めさせられ** んで爆結の一部を題ぎ、職民 観路の扇利は思みの勝利とな 島域の歌呼は「何既つ」とい を過ぎた年載の編身懶人遂の生活 日取近北美國 では例十級 一定て彼女選から生涯の存配を織つ に向かないのに結婚生活に人ると

海軍記念日

戦争と獨身婦人

英國の彼女等の保護

婦人の新しき問題

自分と焦と二人分の番老金を織つ

四字の標準を見て、來るべき復讐。が色々の點から問題となつてゐる。 葬的に地步を雁立した。その大朋府となつた。 担本は勢輿した。 世 んで結束した。その緊忍が終に報 盤隣の無礙を此の一戦に賭した日 日本國民は北を原み西を祭 概、歴史のあら行風り、

るとであらら。 圏家は組圏の名に「質から云つてどうしても襲楽生活」

依つてその愛人や不恵の良人を失。 有望に燃えない暗い振燭な明け暮星等の婦人選の客くは世界大戦に べとして休みない労働を、明日の 加して彼女達に駆されたものは孜たり結婚の希望を踏みにじつた。 話を保証されてゐる話はいい。素 々として休みない労働を、明日の 本立出来るよのお誰を持ち、生 彼女達 の中でも現に角 現れて来る。か献力の勝殿は極度で歌楽に輝くには年をとりすぎて、片でやうじて新口を流してある を担まれたため已むなく職業にす。特典に優べては願る片手落な制度が、際に児業中の高にとつては原

は依然とされてゐる は二度と再び職業にありつく希望 あつて、彼女達が一度機場が失 路穿がある 今日英國で最も生活 の安い見書ひ工の方を採るに決つ 四十歳までの中年の工場労働者で を脅かされてあるのは二十歳から ちてゆかなければならない悲しい てゐる。此處に中年勞働者選の唯

人でも就職してゐる間、ਿ選一志

金門灣上に描

る結果になってゐるがそれにも断

ことを必要としなくなつた、見話。では生活の踟躇も得られない中年。肺凝により、もつと / 〈夏く好に入手を省くと同時に熱硬といふ。 ゐるといはれ 六十五 歳になるま。 郷であるが、之は或所或は由齊 にかくつても同じ線な響品が出来。きかという蛇である、窓に於て、 |ひ玉の事にかくつてよ器機匠の事||の米電路人達の生活を組両にすべ、飛躍に住めるやうに軽慮され らない結こそ全く差めである。 がりついて生きて行かなければな 力に盛れた若い女熊といっ大館が、である、彫画は三十を過ぎた許り、を希屋代記文織ひ、あとの三志六 しても現も角之に依つて六十五歳。身緒人達の多くは一選八宮六片院 と云はなければならない、それに 在否第の受難資格を獨身加人に表

オ糖取者の壁は非 デオ聴取状況

年金の線な頻度があつて、獨身類は、最も多いのは英國で最も少いのは一年金の線な頻度があつて、獨身類は、最も多いのは英國で最も少いのは人でも武士というという。 一種の保険「間野の務後した所によると英米牌」もないといっのでは勿論なく、問題の務後した所によると英米牌」もないといっのでは勿論なく、 フランスで 選民十六人について !! 状況はどうか?応近フランス政党常な増加を示してゐるが英郷郷の いのにプランスでは事十プラン オを選好しプラレス人はそれ形で も右の数字は英威人が一番ラブ

完成がそれである。×胚盤な癌学。 **職が出來た。近代科學の粽を確した奏港ーオークランド間修橋の** 世界一を飾りやかに歌ひたいヤンキーにとつて、这一つの自曼の 素晴しい近代科學の勝利

がだけのである、『日本が終結の目的である、『日本政治的な野心達成の援護財撃

於各道水產主任會議

第二水産製造業及 水産貿易に就て

の訓示

厳固になってゐるらしい、 石に大都博、バリの糖取香敷は今 **転後に各國政府の総取制収入を** 限定版クラン

祭を祝い計画である。その手始め に今後数年間にシエクスピーア アリカの限定版クラブは小部年

十八倍ものを飛行するこれに

と思のお産の時でも問者にかいるの既職能を疾和するのにも役在つ 出来る様になってゐる、之とてもしという議論が正時次第に盛んに 目分が房屋になつた時は勿論のこ くても鹹く職業のない若い女性喪 男子が展選一志七片機ひ込む丈で、なって來てゐる、之は一面鑑され **北麓になれば遊老金を蹴ぶことが、り十年經下げ五十五歳からとすべ** フチオが買える

事が出來るし、六十五歳になればわけである て自分が死れば影や遺紀に年金が、を持つてゐない勇身婦人達にとつ 1 鏡石ラヂオ

下別されるという至れり盛せりの て間代は可成り大きた支出である 附属品管で三国五十銭で特

へられる失業教践金の中から五活

發賣元 爆車等衛行人四四四一都 東洋電氣 製作社

內科小兒科

電本二八八〇番

レントゲン科紫外線

銀コロイド内服新築 差十五百四八十级 一個八十级 一個八十级

特·製 許·法

を伴ふ等、これらの治淋剤は服用上、治効時く、又輩一白橙油の類き一般内服薬し諸種の淋事性疾患を醸成せるものに剥淡て不便危険の惧れあり、雨も症狀が内

効力が強いか?

導によつて新たに發見され、クラ ホルモン科學の權威伊藤博士の指

ホルモンは、専買特許第一〇四八 フ化棋料に配合されたクラブ綜合

八號の特殊な製法による前例の

これに腦下垂體的葉ホルモン、 ない卵胞ホルモンを主成分とし、

である。 都往文あれは張賢元より密達す。有名英店にあり、品切れの節は悠

支店 大阪市東區淡湖町

東京市韓田區領部町大連 大 木 合 名 會 社



返

2. 日焦止め、としてもクラア美泉ク 一番/なのは特殊な原料を配合して白粉下に、クラブ美身グリームが

ラなくつき、永持ちして化粧崩れが ありますので、素晴らしく白粉がム

しないからです。

粧には忘られぬものです。 リームはどんな強烈な紫外線をも適 断して日焦けを防ぎ、これからの化

3. 若返りに、クラブ美身クリームに 総合ホルモンが含有されてゐます。 は、小皺、弛緩を防ぎ肌を若返らす しかも特に事質特許の方法で注射同 等の効果で肌内部に吸収され

肌を素晴らしく若返 らせます。

安く提供出來るか?

迦

IJ

様な著しい効果を顕はすことが博 士の實験で証明されました。

層から吸收され、内服や注射と同 許の吸收増進劑の配合によつて皮 を持つと共に、更に別個の専賣特 ルモンの五、六倍の効力と持續力 分の卵胞ホルモンは從來の女性 を綜合した貴重なものです。主成 鷹ホルモン、植物性綜合ホルモン

効力のある優秀なホルモンと認定され推奨されてゐまの方法で得たもので、世界の有名な學者から現在一番綜合ホルモンの主成分たる卵胞ホルモンは、專賣特許普通ホルモンと言へば甚だ高價でありますが、クラア にも拘はらず極めて安價に提供されるのであります。ますので、大設備と大量生産によって貴重なホルモンとして多量經濟的に大量的に特殊技術により採集され すりしかも、完備した採集設備のもとに純粋の結晶體

くられる所以です。

は今本ルモンが如何に効力が強く、又想像以上に腰便関との世数間もする高價なグリームと効力を比較回製品の计数間もする高價なグリームと効力を比較回製品の計算のである高價なグリームと効力を比較に、本ルモン化粧料と得する外試みに、一個意圖五拾錢の强度綜合ホルモン含有の藥試みに、一個意圖五拾錢の强度綜合ホルモン含有の藥 であるかい分ります

森さんの出馬で定員を超過

本府社會課 釜山出張所

三川」往日されてゐた京志支店

し午後五時半散館、なほ茶質の放一態者を高みて二路暫に移つて委員

はやくも激戦豫想

| 第三分じ風であつたが今年は二十

四雄七分六個であった、本姓皆贈

大釜山建設と共に

| 匿が成成して十分の活動が出来ずした。種間間では現在三百名の部||「宝玉]| 医南道體育協會では資金 | く衝戦の大撃集を行っことに決定

新會員募集

事業公債案の議會通過で

早くも劃期的飛躍の準備

無難となった、能量薬の内容は<u>後</u>一般方面に創期的の飛鞭をもたらす。つて本月末か來月初め緊急後員館 市を包含する網郎事業公債条

和通りの退任の軍院中心は釜山駅「砂に職」流事が注意を蹴ってるた利通りの退任の軍院中心は釜山駅「砂に職」流事が注意を蹴ってるた

て海池、金牌、倉庫、野緑業の鵬」し立石質頭の内地からの端來を生

統營小學校

が、融質通過の報と共に假然緊張

連絡の全機能が巣中され大規模の

商議も蹶起 府會に呼應

税關長は目下北針地万に出張中で

2条例配酬長に影歌した吉崎七川 | 旧川 | 岡境の重要な地位にある

新義州轉出

を明始せんとする。高数を示す等

に赤繊維を設け、有志婦人は慢花

太公望は

2 る……廣州スケッチ

他で二十四日午前十時から母統制

道廳移博地變更

繁榮會が起

代表者道廳幹部に反對陳情

応北道廳送ひ出す

晋州醫院衛生展

【蚕山】質州道立際院では傳染病」から三日間衛生展を開催すること 豫師と領生概念尊長のため廿六日 に決定、森本道警部の衛生講演の ほか後間は衛生映識を上映する

釜山棧橋擴張

南東が町の町在地には一般面

変員總辭職を決

政府尹に迫る

府尹慰留し更に坂田氏を推薦

馬山體協ご難續く

|日午後、緊急後||政策を聞いて観々「立ち至り紫蒙療を強と道験部との

外四州面外領里附近に約一萬坪の一若し外億里移聴が明かとなった揚

一部として買収せんとする市 器げて道當局の直感を確めること

に決定、近く道証部を訪問するこ

|| 総は昨年の大郎より書しい徹底を | に附記、体郷後を選長を進撃して、北大労働者と道外出襲さの管配者、を終行、鈴木登野事が所長、春田幼と明年の大郎より書しい徹底を | に附記、体郷後を選長を進撃して、北大労働者と道外出襲さの管配者、を終行、鈴木登野事が所長、春田幼と中部・一人の自分観光 國大十銭を筆頭に最低年収二百一十らことになつた
国大十銭を筆頭に最低年収二百二十一に移職し六月一日から事跡を開始
年収二萬八百四種連瀬三百三十一に移職し六月一日から事跡を開始
日本十二章を記し三百二十二 に移職し六月がを開始 所他育跳の出場所は事務の利便と 「金山」釜山で内地震航を開止さ 接橋中央プラットホームで地域祭 ちかく移轉 重大な使命を有する際式は厳職部 關係者参列、内証確の交通国滑に 大型船連町に対応する登山機構の 増取築工事は十五日午後三時第 【釜山】今は頭頭する内軸巡路の

富川郡廳改築

一のではないかと見られてゐる

結核豫防

心となり、相信の影戦を度想され

馬一府會

戶別稅等級

[11] 石川州等手は職大師は

と極高能量足案を開闢、地方思慮

|の郵放連は中し合せて、僅かな磁||学の実放選生こと高橋ハッ子(水)|

に能がにも、小指を切つてハンケ

煎り豆に血染の旗 姐さん連皇軍慰問

仁川署射擊會

「山川」富川都富内面事務所は暦 成會設立

を宇野府武に最低、選いた府武

各種の運動

・欧条の要に迫られてゐるので 敗戦す各委員の慰留に努めると 曾長に坂田中學校長推成方の諫

【Ⅱ川】 警景器、衛生組合総合館 では京龍道新褒賞破解館に相呼越 のでは京龍道新褒賞破解館に相呼越 昌原教育總會 [馬山]

めてゐたがいより

底曳網組合で組織

「大邱」 朝宇第三 仏機胎底曳網川

【馬山】高原郡北面水利組合主品

苗代播種と整地状況起祭、第二

【大郎】二十四日盛況裡に幕を閉 十銭の形當をうける色である 創設以來の上首尾 昌原道路品 お詫

關長の提唱によるもので、本紙一助長機關或は配散をなす表も同

固城の中堅

展別の電景器では去る廿二十

整温で信例は

廣州署射聚大會

●一等東面▲二

大多數にさ、種本の不利不便を 立然のように至りたものでこれ 大多數にさ、種本の不利不便を 立然側に関し、他の参 (明書) (1 他の表) (1 世界) (1 [| 関城] 都では中北鮮の先進地行 事務能に此簡加設産業狀況の就 先進都市視察 歌大郎を行ひ游紋、在棚重人、來歌大郎を行ひ游紋、在棚重人、來

の副資を除った ・ 久保定光▲五 ・ 久保定光▲五 ・ 久保定光▲五 ・ 久保定光▲五

記念式を擧行して往時を偲び

花を賣り國防献金

然背山大

有志信徒一干餘 式を銀行 相當の物職を 名刺表思告任

一十八日夜演藝館で催 来る二十八日午前七時から永気神殿整館で『京日名

小作爭議委員會 五件に勤する

井農具居次女三四郎氏守殿ひる 現象である 【金泉】殖

入院

上手間面長に在職して仰大な功星州面長更迭(星州) 主当島氏が就任



デュング 伊斯を観史して、一郎、その世界が経過のメール

年から大闘町高東中央分會では 所等も半しく認識し、**薬に生** 融を「放照に確認し、**薬の** 動を「放照に確認し、**薬の** 圖入說明書 のは、たの野山を削減し、繋が

全部無料で匿名表表す。 の上へがキで御照覧下さい、 既謝貨粮文も多数城つで居る の事態、同復者が競技を得た 是非御一歌あれ、秘密御安心 健全発育 するに変れば 厳して男子の資格完成に努力せらない人生の存を示論せず、卑叛難 回復者の好評がくが如し、二度と 職成功の機能に思くまれること

誤率▲夫稅証課で自會では廿四日午前

ħ Ļ

金四 簡 透料 植民地 四二銭 名 次昇十五銭州 クホリック 色 亜 安全器 で、 一五銭 の代金川換小包は で、 一名銭 の代金川換小包は の 一名銭 の こう

◎効果子完全の償物あり、必ずホリック減乏水治院をお求めあれ 東京市芝區神谷町十八頭新療法研究所

男生〇器の

では、本質の質問である。本質の特別で、本質の特別である。

發育不全 機能障害で 家庭の不和は

狸にも恥ぢよ

近中で壁の対震を影響ったが人が | する女があつたり、悪にも恥かしまで影響したり、共を論てく深裕

□▲ れようか、とにかく辨けのこと したいのに、実が水() 世界 高つて、野地にしとうか、然に入、 は、 実が水() 上で和台 を にって、野地でで見ると、 は、 大きないな、 は、 大きないのに、 がないのに、 まだが、 など、 など、 大きないと、 は、 大きないのに、 など、 大きないのに、 がないのに、 などがったからにない かないのに、 まだがかないことにない などでしてないが、 それは、 本代、 本代、 まだけの配置で で、 あずわるくて 歌地でした。 などして 野地でで見ると、 は、 または、 本代、 本代、 本代、 まだけの配置で ないが、 それは、 本代、 まだけの配置で は、 まだいる いまがない まだいる いまがない まだいる いまがない は、 まだいる いまがない は、 まだいる いまがない は、 まだいる いまがないる いまがない いまがない いまがない いまがないる いまがないる いまがない いまがない いまがないる いまがない いまがないる いまがない まがないる いまがない まがないる いまがない まがないる いまがない まがない

を振張し、酸計がで吸起して、歐路に転載なる心臓が影響し、動脈により、良能能もには、極いない。 法を行うと、本間の巧妙なる



映画の夕』を催すことになつたが上映へ高は本代永登浦支局の愛智清サービス…… 来る二十

演の人情味タップリの時代劇『カラクリ劉法』等何れも名篇前ひ中根龍太郎、渡邊馬共演の涙なくてはみられない現代劇『世の心』未封切の中根龍太郎、渡邊馬共演の涙なくてはみられない現代劇『世の心』未封切の

京日名映畵

助劑組織の記載は道當局で記述すつて一丸とする相互扶助機關の見 金山」熊朝、腹南の紋頭はを打 坂生建に對する實地敬養、終つ一級の遊波が行はれることになった 歴宗物鏡表、響速を及及び小場、上原僧が市場間の建選として傍鴉級で放客範冑開席、年後各學校、尚各等が原設に進設しませれば明治の大学により、

校の選抜が行はれることに

面 公共の主席 (大学 (1982年) 1 日本 (198

| 条中の教育者を発に組けて組織 いのは誠に遊歴であるとかねて懸 仕事をしながらその割に総金は安

れな状態だつたのがこれからは

二時間つづ修養 ・ 発質は報徳関 と と と では 計目ごろ

開催に寄附募集 後一時から呂統曾田立姫備委員

大邱競馬新記錄

の能感を期し亡國國の撲跡をはか息校では講話等を各方面から官僚 李大頭馬の馬索器改上品は

登沛支局 人

P市山米海至丁島民産産専用 富 士の田美別師 | 国 古 歌作

酸坑の憂き目

出水と斷層に遭ひ

水安の液化工場にも暗影

勝人、兵隊さんの慰安にと守備隊

上語音機五器、レコード五十枚を

本部に届けて來た、除では早遊こ一て非常時經驗の强調につとめた

は難に本所へその結果は内

支給するか、またはそれに掲載す。海軍記念日を行し年前九時から盛。五日正午各組責任者及際気候行配

下責任者を召集し取締方針を示達

【開放】顔工智能所の調べによる「、の三君を推立、恥命その他九日りり 〇 塩を毛の 頼色の千思世に合。 世後、世間

腰の一部廿名が来降し层が齊長途

高 さに二ヶ月解を尋ね処り深にそ 「三月早々一五個を漂行、個々と 「三月早々一五個を漂行、個々と 「正日鬼を変渉したが要らず更に は、三月里々一五個を流行、個々と

氏は肥質の如き森林鑑道設計變更國關和會館井熊事處益田主事の雨

意京質薬部その他關係當局肖昭

[編末] 商工會長至近湖、湖川

拔擢された ケ月

桂坡州郡守

A-72発剤

開城の貿易

四月中の貿易器制は削りに比べ、一十餘回を電布

る時限者収容所を但有地山九一番一大な機場式を銀行する

4所で 折紙

威奥一甲山都内一邑七面には

るるがこの貯蓄から昨年中に開い

一萬五千八百三十七回に達して

の聚る権力は歴大な力となる事實で有別に利用され一些の梁一握り

魔のこの思ひやりに將兵一師感激

题《起三〇四、六八五图 15、九〇〇四条人四五、五六三 8人七〇三、〇七四回移出三八

一時間の慰安に供してゐるが婦人

目醒ましい

佩旗

競及び家族の外官民多数別脇の下二十四日年前十時から討橋内で駿

問身大神宮の観座祭典に大祭は

建立した羅律機関医育戦神、

動行、終つて宮崎機闘師長は家

長日府の農務會長徐禎氏

長男はすでに死

一間に関し敬押思想を破吹し、

経達】無以一局の揮金と努力を

質の我子二人を

頻座祭ご大祭

の守護神羅津機關區

咸興] 咸州部川原公立平通学校 川原普校落成式

春楽間島各地の露菜地區にポーリ 「阿井」奉天泰連護薬公司では今

次に來資・同機關所内を見學、正

別その他低り得出な辞典を重ね路

淺野、三菱の雨鑛業がそれる

頻業界にまた快報

脚を被して調査を進めてある

正版道點買至減の贈金に

都計工事を初め、いづれも大馬

春になって去る十五日までに郡郷 小手頭尾六○件、物定二八件、で取扱つた筆頭牌数は左の通り

咸興郷軍で五章一萬箇頒布

毎日五六世の胡定申制があるが今

師秧期を学えて小作事派が増加し

VZ

間、二十二日新景へ向った

に拔揺された、氏は平北宣川の産 で昭和六年東京帝大政治科を首席

力をかけてあるが、侵圧請資業割 【 * 】 建設編建の工事期に入り

『山一帯の地下に眠る無確核の金 同金山三鷹區だけで年産物四十 **爆行中のものは野崎鶴楽所經燈** としてゐる、周地帶に於ける地 能の順手が邪延べられ ルド、ラツシュの波に癒 あた、端川W北斗日面面

加盟は関年五月末である。 約七萬坪の道路及び宅

上事記可に願し、本脳質問と 區約九十萬坪の道路及び宅 十三日を中に挟んで廿二日の朝夜の登祭は開港五十六周年記念日 の眷祭は開遊五十六局年記念日二 び朝鮮人鷹の現興隊之れにカフェ(元山)六萬府民の氏神元山神社 | 三日間は各町の子供御黙、屋楽及 上海り港開けて以来のお祭り締号がから二十四日の景幸まで三日間

期限來月廿日

れるなど所を駆けて奉配し近郷か

意外に貧弱な設計と判り

重ねて要路へ陳情

間の像定で二十六日誕上城した

成工事態に地境川橋梁五ヶ所

内鮮一體となり

の春祭

屋をみたが本年三月中旬から最優

の少年にして一人前の近極密問為 の少年にして一人前の近極密問為 原を締めてある

何れも北支方面に出版ぎに行って、関面上も底力のある正義のないことある。既較人を敬葉とするものは、常上にも由々歌き問題で賢文府の

あるがその留守中の家族は安東縣とは悲むべき現状であるとしこれ

し一年中に九百九十七日の新設家

三日間空前の賑ひ

1、遊院、料理屋連中の屋置、画支

待望の

)前場入札により二萬一千七百五 血で三木合資と契約を締結した

近路と宅地遺成工市は二木合資

響」都能北城の一區及び四頭

一端を増い同社液化工業の将来に 推定獲得無温酸といはれてゐた獲 機能してゐた矢光梁如旺内田水と

半は低に破成しなほこれが連接通

| 金六十圓の助戯金を交付され、こ 今回帰里婦人館に對して總質から れ侵良症材として知られてゐるが 【悪山鑛】凶内嬰祠里八十六戶の 15年 第一条年来シルバー景気の | も優かに七十戸に元たさる状態で | と認めらるくものも多数あり、歌 | 路へ陳健康を提出したがその語頭

安淡化工場の酸炭綿粒炭酸として

設に投じた約百萬圓の尾番は甌蛇

つた、なほ同鑑山の鑑賞は園繁の一般のもとに組入式を撃行、五十 路として縁続線の両から分岐仏部一原形は順和九年恵生部落に指定さ

【塩津】朝鮮石炭工業株成園社億一この成り行は注目されてゐる 惠山要洞里

景氣は浮動し純情少年の心は虫ばむ

府民の正業化と教育改革

教義州の急務要望

日象を曳く

が間分間では『公供とは何?」と 脚する左の如き物際ピラを配作し 間の分解量を顕単し、この一銭に る報園連回を起すことになった 艦隊旗艦二等の橋面高く揚げ上七日午後一時五十五分我聯四額すれば明治二十八年五月 非常時認識に努む

の如き挨拶電報があつた 挨拶の電報

部から長端部守に榮奪した重島弘 氏から二十二日本社長湖支局宛左

質励しなければならぬ時機が来 といる邑當局の算定――飛鞴を 同三十年にいたる邑人口の自

を仰いだが、その原定表は第一

【延言】植田闕東軍司令官は延 地方初度巡視のため來る二十 間局を巡視

慶新任咸北土木郡長 廿一日清津に一泊羅津、雄基へ 开本府技師 十九日驪南へ同

響き手を偲 ばせる清新

な文字の流れ

和龍縣で採金

れを各中隊に配給しな問題形まで「三七、三二三国の好無景を示した」の新桑洛成式並に祝賀書は「十四」ングして無霊蔵と辞される地下の

ることになり目下部井市内に自動 通話料は京城、永登浦共一通話二

1 十四、呼出將四十發、長部

釜山間

送山間 長田が高高ガニ十一日か 元山と平壌 一元山、元山

たが成職は配る上来であった 第一日は五連語だけであ 再建事件

編死を遂ぐ 「哈」昨年五月福川将に接続

許特寶專

●蚤・南京虫・家ダニ ●頭の虱・○○の毛虱 ●大猫: 牛馬、家禽の ●大猫: 牛馬、家禽の

◆液体殺虫劑と比べて

キャメーがもちがする

H. S. 1

肺病を悲觀

世界林で総死を遂げた、原因は八 【汝山】岐州郡泉襲面大陸里洋藩|州外九名にかくる治安維持法道安 左の通り求難があつた、钢狭営商

明發土博學理國佛津今

イマツ郷取粉帯(虫用(赤函)

害農 虫作 剤物

脱級際、愛國青年期聯合の質量計 斯器會脈に揮軍、國防始人會、 七日の海軍記念日を収

は在低重か

合同の射器大會を銀行したが

· 第三 羅津、京城間直通電話は

待望裡に別通

|十一日から開通したが||家として將來即の健腹上氏の活躍

年後の合盛

八萬の人口は間違ひない

農滿 務

古澤常次著。四於劑。

老科 沿 個

息通電話

(地方郷)となり、同七年高文行政

(以上は他の殺虫朔に全然見られない特徴です)作物に刺軟を與へ、熒育を盛にし枚穫を増す、人体にカンフル注射をするさ同様に、本朔は この効力が著しい。 生は全然よりつかぬ、移動性害虫には、特に虫は全然よりつかぬ、移動性害虫には、特に

| 棄物等はわけなく退治出來る。 | おぶら虫・おかたに・さるは虫・尺取・青虫
めが発え、下倍にした稀糠な液でも、うんか 小『てい就仁除羅虫客』 基進代無一者は希

害虫驅除に 素晴しい三大効果!

じ手の製剤との他一般所民に一萬 を開いて國民精神の作典に養した か今二十七日の記念日常日は所内

崔郡守から [長部] 郡

はけてゐる喧嘩では近き將來に う清津や、羅津を追うて都市計 語

朗らかな未來圖

縺

導理

植田軍司令官

學問せ、丸谷喜市氏の序に日く **慰之間りつゝ。一つのブリンシブル、即ち「見本的指帯」の解則 を訪からとするのけば、暫地を留まざる政策をはない。 原も夏季的な坂寿賞、 近人々の待めて水春は鑑賞もしくは産業に関する政策乃等方策を取扱しもので ある。但し美の**

では、単は以上は、成地質、成人水の整線の配線である。 但しそれは次して 種では難行された有の造別なる一無認、一方策の、期快にして最も感謝に顕す 地で、職難もしくは政策の再後には「私」を終く正とを得ない。「小と、人の協 ので、現ましては政策の再後には「私」を終く正とを得ない。「小と、人の協 ので、文字のものは初かて生命をもあり、「本の生態を裁判することも出来る。本 理を其間的に例题するもの。

震撃大阪三九七番大同島院

優層識の花祭は佛教嶽 | 盛大に行けれた、この日朝来初夏 釋尊降誕を奉讃し 會寧で盛んな花祭 定められた鎮硬寺の庭は定別則早 の陽光さんさんと聞き第一所掲に

ATHENA

蠅の全滅には 怖ろしい病菌をマキ散らす

題はもさよ イジ頭取粉で

防究研學化證今 前 町本仁大市版大

全滅ノ



躍るブラツクチェンバー

光る當局の眼

釜山スパイ事件の詳報

腮院に開棄した | 士に嫁館の監照を行ひ、彩典客に「で北行した(點真京暗廳に避着し、後三時 夏度郷) 郷師の特長らも野霊神に鑑列滅河 兵一行は三昧五十六分離山郷列戦

七勇士の遺骨京城を通過

一異常な感動を興くた、なほ飛行將た卒の剪士の遺伝)

我生命線の護り融となった

手紙の 助けて下さい

ばされて行きます助けて下さい。 とのS・O・Sの手紙が去月上司 砂瀬さんこしから用いたのでびつ 一千二]百圓 議洲へ慶飛 は去る十五日前回の四月二日から 。訪れ娘の捜査方を願ひ出た、農 り、これは大機だと直に調整器 中奉公に京城へ行つた一人規題一窓じてゐるので、各方面に印刷物

趙億吉さん(よ)のもとへ数日前 8・0・8の主は誰?思南牙山郡

にして報告して新しい疑問符を後 四十三目目に京城無常局に一、 回同機の現象が二十分間に亘つ いた 捨て兒

の調学第一氏、服務助手日和三 六月一日午後九時半路域の上同 分入域、劉鮮キテルに投宿、廿 德爾氏圖行、廿八日午後三時廿 九日年町八時廿分金剛山に向ひ 階侯お揃ひ

双葉山に楽冠。器型

本語を上述されている。 「日本の大学を表現しません。」 「日本の大学を表現したん。」 「日本の大学を表現る。 「日本の大学を表現る。 「日本の大学を表現したん。」 「日本の大学を表現したん。 「日本の大学を表現したん。 「日本の大

花柳病專門

是是是更新**用**



計六日夜八時頃京 | Gの女兒の揺兒があつた本町巻 E城京迄日: 一冊らか日七十二 ゴ回の異動で白悪機はもとより全

城武艦町都英結氏方の門前に三7|は線御さんヤアーイ

断行道にどよめいてゐるが京城府 四の總置。時を中心とする官職だけ

なるべく簡易

大 店 館及がいから 医 百年以上。 原城 第10 原 建か 成可電 単連。 伸介 者 謝絶 日本タイプライター 株式 脅並

告ご思り特に普通こで周載す

園五十銭版名は一回毎に五十五號67字十五字63一回五行一

※ 京日条内

總督の注意を酌む本府

のためて楽しいいろくの職しが

でもその出人は三十名に選してる

折角のお客が

義さん(型)の死職は、その後龍山。親べた秦死んだのは別人と判つた と思けれた思南扶熊郡主山面を水一つ姉にとられどうして助かつたか の跡を消ひ機び込み自殺を遂げた。フコリ個山著へ現れた同時では泉 日午後一時頃後江南からそ。死んだと思った李永義さんがヒョ げ込んだものと何つた 赤ん坊殺

一唯一人の娘の水売を歌い一窓で搬遣中であつたが、廿六日朝一るのを恐れ、絞殺の上用が路に

転任国から変化器に至る人々全部 回廊の人々は、これ等展動者即ち との注意もあつたので、本府所鑑 徹远祖は出来るだけ配めにする様。

し鉄送連續を属すことしなったが

迎、黄金町行電車に乗ることに 郡城前面の企業ださん夫婦を招 新築したので自分の甥である水原

し、廿六日午後三時頃健山降に

京城側底町兪園老さんは歴史家

利 高 奈 とおさらいと nexk 出る

を探して下さいと驚張へ泣きつい つたが、若寒曜氏(三)だけが栗明

して電量が走わて当つたので、

一六日女一齊に花月に招待し

形込んだのは他の

るのを観込、統漢器で個人既至中場附近に歴史死體が遺棄されてゐ

『私はそんな手歌書いた事ありま は郷里へこんな手紙を何故出した の言葉に係目はあつけにとられ書

せん」との设否、はて不思議だと

殺戮され、去る十六日制定の用水

□ 健中の金明女(゚↓)は何者かのほ

|部揚下面立岩||李亨信方||時頃麦が規酸の緒頃式に出かけた 用水路に投げ込む

路で無機な屍となつて震災され、

かといりのいの文を記すと、意外

義妹を惨殺し

某内地人の家で願いてゐます』と か、私は法さんの家を出て本町の一

した顔で『私を探してゐたのです

り間署を訪れた強腹さんケロリと

Cなつて あた折針六日 個にヨック

から解雇されたまょ音として不明

誘拐魔の仕

要かと翻起

ところ五日間京城質鉱町洪某方

箸の母親

同署では署銭を置動担当に

留守中高雄を働いて、僕四の極か(二)を容疑者として取調べ中の場合を開いて、僕四の極か(二)を容疑者として取調べ中

女工か 君(『元)が馬車に木材を山程酸んで生頃、京城新常町の馬車挽率事愛あばれ馬。廿六日午後八時 主旨ともに百名を突破した

結核豫防

日目

肵

きょう

発育量、自宅には接脳を備へ路上 様を吐かぬこと、下水、便所、地 抵領の設備から」の標語を掲げ 設備収蓄日で「結核の環跡はま

なぜ、

の顯微鏡でみるか

2 粒子が、一つ~一揃つてゐるか。 ヒフをそめる生の色の塊がないかっ

月底工朝師に継続される野れと命名した、同日開船は八月十 たが、六月三日進水することと トラック事故 たので、宇垣總督はこれに開閉 三変に往文し彦島で建造中たり海礁楽監視船(三百トン)は本府 照風丸 してこれを駆破職は死骸七、 けふの天 三日に進水 神 能診析 查 並 鑑定 原病清凉里町 店)約 特 店貨百田 平 城 京

元賣證

開入からの通信を異常し観響を観し継続を買け相當 その際は形に置い態度してるた事で振知されが國部形質も好趣傾に をのばしてあるが、彼の態帯した! 足どったどは序三星域に立ち織り代する見味激兵艦の語脈によつ らに四角に向って一味の環報の手 万音三板 実にた契勇能駆踪解入の端なくも見味激兵艦の語脈によつ らに四角に向って一味の環報の手 万音三板 実にた契勇能駆踪解入の端なくも見味激兵艦の活動を振ったと思勇能駆踪解入の

一眸に見下す祖類公配で契國領事「三日午後三昧釜山建顕公體で會見」、當局はさらに各方面に向つてスパーの如く廿三日午後三昧釜山海を、マとばかりに基故の手紙を以て廿「っことが戦略した、なほこのほか」ヨンを控う起してゐる 方、京城分隊から腕きへの上水将 現金と引替へることを返事する一 話にしたのである、敵兵隊ではス 重要性を 帯びたものであ 質などが発意し異常なセンセーシー 宇宙の怪サイ

が験成の配を光らしてゐるとも知 バタヤ等々に聴歴した威兵士像名

の副漢を防止した、かくて一世輩 山巌兵分隊で取割べの上、廿四日 は返貨局の下都跳佐々木技師の指し線?」「帝国被粒子?」

の無電、天文、物理關係の各方面 通常受送信通りであった、また

を続けて「無點の影響?」 内地からの透知もなかつた、世界

镀午後二時四十五分——京城驛着午後四時八

店驛着九時四十一分◇歸り…餅店驛…京城驛發午前八時三十分(臨時列

No.

日曜)

森林美の軍山陵

河李

瞬瘤

◆第四ラウンド

中亚 鏚

假南

茶園領事館に一千国で勢込み交 午後七時十五分京城着列車で京城

馬さんは、蜀り辰しく たオールドミス協

た、去る十七日間動物 へて、このオールドミ

> なく新緑滴たるニュー 蘇日の既に使れる色も

の新職

月遅くアフ

衛を遠く関連のハーゲ を遠く関連のハーゲ ンベック動物圏から凹

て、神戸まで出班へて

の典を置げたが、古七 京城に習いて早速電場 これと交換し、廿二日 花婿様の

ご入來

申込先京城日報心事業部炎面には受信の宛名を置いて置いて下

「高翼は華山陵の一つ隆陵

商銀勝つ

爾爾爾爾爾

| 強 健

李 四 3 (度) 是

店 商 岛 田 社會名合

化祭の夕

はるばるドイツから

の猫の出こるな 気物電車 込みによって生活の立直しを企 切から中旬にかけ! | 国に耳

須春見をはじめ三人の男の子を

福近の國際關係から軍機の質(今迄普通の

習作(Po)で、保険外交員を失職以 長士の盤山府大新町五四〇伊藤

の脂肪下のベンチに得たせてゐる こも知らぬ併騰は、周顒に架をく

られる不思議なサインー

上の機能消費を買込まんとした内 地人質園奴を檢撃したが、右に紅、務性長と祗田軍曹を釜山に急派、 保護法違反として嚴重属分方の意 群に對して制後に同に亘って軍事 世六日京城總兵隊本部では軍機

人ををとりに関って定刻能質公賦 情餘名の 職扱を得て実図

すると共に次の通りその内容を

検撃した 曹國双は岐阜縣 ばりながら近づいた、その頃土曜

超へ、議論で仲里素公中の態気からず、顔面質自となって製外人に

全鮮無電局待りほけ

| 宗学大学は | 一番に折り敢な が、その第三回目は四月三日から | の他鮮的各地無電局とも医験なく予診増通の概形客と見えた | に買り、慰謝無電通信を書かした| 無線、夏 坂無電 清碗里 受話所そう診増通の概形客と見えた | に買り、慰謝無電通信を書かした| 無線、夏 坂無電 清碗里 受話所主 受予報の概形を提出減緩出け ヤー博士の超後した新宇宙現象ー メリカの機機関無難部長デリンチ 目げちば けとなり、さらに調五 ばます! 一怪である、なほ朝鮮で 日本でも二月廿八日、それから遊 一
昨秋
ア
|連絡をとつて
行ち受けたが結局終
| このま
く現はれない
怪地娘と
すれ

ら手ぐすねひいて待ち受けたが午 十四日を深刻して廿六日も早朝か

「寒を持ちかけ、去る十二日午後ル」び東北方に変を消したが、整砂當

寄せ、寒の留守中再三金明女に難一至に飛來し草跡上室を迂回して再一窓を添めてゐる

より上交話く飛行機一般が經確上 らず時節概認の後飛行機として疑

商中加

瓣瓣焮鹼薄

與東 影南 重要 松貞 相石

学河 争張 介崔 余荣 金金 产

本大廿六日同盟] 鈴木討伐縣 際大肚において匪首萬職の率

紅匪を撃破

店にあり 美味

隊

川〇隊に二十五日年前四時頃の

上空に現

はる

作権の修理などされたいと

であったが、個人は義妹に思いを 信(wo)方に本年二月頃から同宿中

語話金明女は姉婿に當る服人李亨き殺人、僭加事物を自白した、被

を倫理、嚴重取調べの結果次の如 配岩浦港で極力犯人を埋食中であ

ったが廿六日有力な容疑背半亨信

つの仕数りで辛くも生活してゐた。近づき、交渉を開始せんとする際

|例の五十四日目録に天體から譲せ | 第で半備萬扁熊へ、全鮮無電局と |をさせたものであつて見ればもし

乳酸所在過や を懸なく謝聊し、常體一點で電機「定日であつたので、驟電電手添添、在餐管時の知識を利用して選って、必死に添走せんとする破人「五十四日目の甘五日が牽塊盤の葉 一般に 背回幣に著しく現れ た頭部無機局その他が確究の手をのべた

に必死の活動を置けてある折納既 は取締陣を励めるべく新に豫算を

> 恋 六ヶ月の選ぎで資格がとれる。 俳句 初 學講 習 錄 |激俳句の作れるようになる平易||志すものは來れ! 特別案人

年金、特別工格 年金、特別工格 年金、特別工格 時代の要求に個公合利的取利情報 時代の要求に個公合利的取利情報 企業月報日出の個用に是非盟立 全部可由,一個 合名可由,第一条 社

粉白粉は五十倍 0

けたやうな事になる。 パピリオつて、壁をみるのに、壁に目をくっつと、粉白粉の一粒がレンズ一杯にな五十倍以上、例へば三百倍位になる

病科 電光2643

眞似の出來ぬ

塚田六段の手

大りまだ! 「平がある著だ 時一二歩と一筋を逆に攻めようと のか たりまだ! 「平がある著だ 情度この裏をかいたやうな場田 したのである だっさじりれる、最もここで一先 は考へのつかない程の難しいとこ ガハへ角成と交換を求める順もあ ろである これとて同民の状風から推 ぶっこん これとて同民の状風から推

夫吉 では、 では、ことには三大性が愛いていけない。ことには三大性が愛いていけないと本点です。こで同門ないと本点です。こで同門ないと本点では、こで同門ないと本点でも出て先づく、元分と云へる。

正兼

ちがしましたがーー』

重歩と聴じたが、これは六八とと敵の四六歩に對し紫田六段は

馬 (5分) 龍 (7分) 五歩 (20分)

三に進む一手もある。一寸出して、本等、六人と、と答られ五人党・七時、六人と、と答られ五人党・七時、六人と、と答られ五人党・七時、六人と、と答られ五人党・七郎の一見だい手だ、そのとのは、一世の一世の一世の 指揮樂長 內靡 清五 間、一、行連曲『日本帝本版』

Ø

同人辞五五分(東)ラチュドラマ 海行かば、海野密二作 第一最新層等の第一第二最日 本海安蔵 第三巻う

第二張日 午後零時五分

同六時三〇分 歌のけいこ 同日詩一五分 趣味護菌(二)

こ(一)。 金台俊

講話

,二年 **世後** 誕生

同九時三〇分 映影劇 李冠與外

と併唱 崔鷹翼

高本 千應

廾八日き、物

を洗ふ女、杉野兵會長の妻 同一〇時 ニュース、氣象遊散、同八時二〇分(東)道花節 調像 万へのニュース京城)

地方へのニュース(朝鮮語後山) 原観音機線記地方へのニュース(朝鮮語後山) 同八時(大) 沿谷间一〇時 ニュース、氣楽巡戦・ における資標図

立花家籍之助

11、寛忠田『日本海々戦の思ひ四、意思田『日本海々戦の思ひ四、意思田『日本海々戦の思ひ四、意思語の第二

聞きとれぬ程の呟きを浅してる。 小泉上表の一二歩は六二龍の澱

は子供の架園でありたい ますから帰収といふ宗教を通じては子供の架園でありたい ますから帰収といふ宗教を知り、有黒、便道、したいと思ひます。 最近 郷泉はもとより帰教の別租でありは子供の架関でありたい ますから帰収といふ宗教を通じて

見て初めてその御事識にも人格にますから帰収といる宗教を通じて も真の光があらはれる器でありま

迎 したいと思ひます。 の精神と歌出の實践とを記想。 を記の精神と歌出の實践とを記想。

標準の変生音を機能として、その

公金 易二郎

る思ひ出の記念電艦旗機場及びそ の他の活行事を中継し、非常時に

れらだが、よし他の工作を工夫して ある。間君は大分連観してあるさ ある。間君は大分連観してあるさ

海軍記念日の

朝**

×

深い僧話が中継される像定である ることを運輸なく聞いて異れると

吾々素人が聞きたいと思つてる

ふのであるから、戦は興味ある

諸君と利田アナ氏との非常に興味

音があり引にき郷棋將校及び兵政

同六時(名) 掛合重話

小壁板の設本の羅魯に闘する記述教育の政材として取扱はれて居る する素素を持ちませんから、質通すがあば影数上の立場からお話を

同六時二五分 (大) 誹領 日本の 梅田久雄外

7 年後書時の名分 近歌『心臓ペン』 「力峰代」 近歌『心臓ペン』 「力峰代」 近歌『心臓ペン』 「力峰代」 「四二時 講演 心田開遊と花祭りず

ダブリュー・エム・ヴォーリズ 一般的児地で解釋するに過ぎませぬ要等について を本として、此を極めて平凡な常

・ は六四歩・同歩と乗らしてお ・ この主、では記の動きが思ひ ・ でも知る。しかし、商馬をいくと ・ でも利かで継が元分階んである。 ・ でも利かで建立し、日の敵に一五歩に計畫 息海戯上にマイクを終し、第一般 である でも利かで建かる。 ・ と金を作り上げようとするそへで ・ とったらしいが、それでは手数は に割りわが海の模擬一点増延になった。 ・ では第三十一回産電気器 になった。 ・ に割りわが高の模擬一点増延になった。 ・ に割りした。 ・ に割した。 ・ に割りした。 ・ に割りした。 ・ に割した。 ・ にまる。 |に割りしが海の福徳||画雕巡洋艦||になつた、行事の順序は次の通り AKでは第二十一回而和記念日一對する認識をさらに深くすること **橫須賀軍港內軍艦**

ネオチリン (腐食は重糖島布) 珍問が飛び出すのではあるまいか

有名樂店 京城本町 株式會社

木

付

樂

高尙優美・携帯至便・ヒス4色

お引換へに一個宛進呈致します (郊町町はずり | 棚間)御愛用の籠として力大・ル 廿銭以上の効能書一枚と 完全器 無代進星中

定價と容量▲

一類文は批政物と共にい際より使だし残る階配の展配館を

◎故に皆様の保健の爲に

口より入る病を防さ

精神を爽快にする!!

売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売売 保健客 꿆 入(五十億) 九 百 入争的百
 (C) + (B) T
 粒

 (C) + (B) T
 (C) + (B) T
 粒

 (C) + (B) T
 百
 粒

 (C) + (B) T
 五
 五

 (C) + (B) T
 五
 五
 五

 <

◆遠足運

堂筒井藤安龍 舖本 前宫天水區橋本日市京東

意を願ひます

帯凉郁及美音館を配合す

隆ラモ其機能の芳香により以中の夏梨、豆姓を除さ、統族所は心

◎本日より直ちに

○カスールは

全國到る處の藥店にあり

御常用をおする

腰を搬発になすの始あり、マスク、ウガヒの必要なさと屈時に心身を実快にし、

カオールの二三粒

房

春情に

本語型 帯・二 一番 出 組 大阪商船体式會並 取 田 組 大大阪商船を式會並 取 田 組 に入いる (高龍)